



ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を

2013-2014年度  
国際ロータリー第2660地区 地区大会



Rotary International  
District 2660

2013-2014年度 国際ロータリー 第2660地区

# 地区大会 記録書

感動の体験を!! 人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

顕彰昼食会



福家 宏 ガバナー



大会決議案上程



受付  
友愛の広場







# 開会式



吉村清明  
地区大会実行委員長





張瑞欽 R I 会長代理



合同研修会



井上暎夫バストガバナー



西口三千恵 様



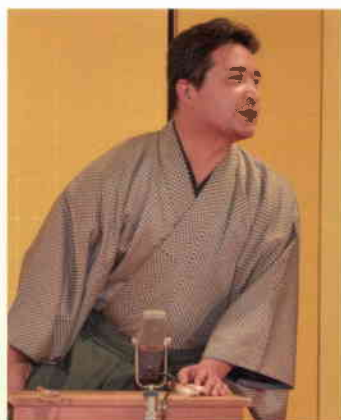
倉内菜穂子 様



家族の集い



上方芸能対談 山本章弘能楽師(右)と旭堂南陽講談師(左)





歓迎晩餐会



2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区 地区大会  
国際ロータリー会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会





昼食会



本会議



青少年交換 帰国報告

特別講演



特別講演 櫻井よしこ氏





2013-2014年度 国際ロータリー 第2660地区

# 地区大会 記録書

大会プログラム (第1日目) .....	10
大会プログラム (第2日目) .....	11
国際ロータリー会長 メッセージ・略歴 .....	国際ロータリー会長 ロン・D・バートン 12
国際ロータリー会長代理 挨拶・略歴 .....	国際ロータリー会長代理 張 瑞 欽 14
ガバナー挨拶・略歴 .....	ガバナー 福家 宏 16
大会委員長挨拶 .....	地区大会委員長 吉村清明 18
歓迎のこたば .....	ホストクラブ会長 柳 雄二 19
ガバナーエレクト 略歴 .....	ガバナーエレクト 泉 博朗 20
ガバナーノミニー 略歴 .....	ガバナーノミニー 立野純三 20
ガバナーノミニー・デジグネート 略歴 .....	ガバナーノミニー・デジグネート 松本進也 21
東日本大震災支援への謝辞・略歴 .....	第2520地区 バストガバナー 伊藤大亜 22
祝 辞 .....	大阪府知事 松井一郎 24
ご来賓 .....	25
地区関係・他地区関係 .....	26
国際ロータリー現況報告 .....	国際ロータリー会長代理 張 瑞 欽 27
地区現況報告 .....	ガバナー 福家 宏 30
青少年グループ .....	33
表 彰 .....	34
出席クラブ .....	41
物故会員 .....	42
合同研修会 第1部 .....	バストガバナー 井上暎夫 43
〃 第2部 .....	元R財団国際親善奨学生 西口三千恵 44
〃 〃 .....	元R財団国際親善奨学生 倉内菜穂子 45
家族の集い .....	能楽師 山本章弘 46
〃 .....	講談師 旭堂南陽 47
特別講演 .....	ジャーナリスト 櫻井よしこ 48
青少年交換 帰国報告 .....	50
大会決議 .....	52
大会役員・大会委員会・大会実行委員会 .....	53
会計報告 .....	54

# 大会プログラム（1日目） 2014年2月21日（金）

## 総合受付

大阪国際会議場 5F ホワイエ

13:00~17:00 登録・受付、友愛の広場、ロータリーグッズ販売、パネル展示、ドリンクサービス

## 大会決議案上程

大阪国際会議場 12階 特別会議室

13:20 開会 司会 今西 敦之  
 挨拶 ガバナー 福家 宏  
 大会決議案上程/承認 決議委員会委員長 バストガバナー 新谷 秀一  
 13:40 閉会

## 開会式

大阪国際会議場 5F メインホール

14:00 開会 司会 今西 敦之 加藤有希子  
 R I 会長代理ご夫妻入場  
 開会点鐘 ガバナー 福家 宏  
 国歌・ロータリーソング斉唱 ソングリーダー 澤田 信子  
 「君が代」「三民主義」「奉仕の理想」 ピアノ伴奏 山上 華子  
 開会挨拶 大会実行委員長 吉村 清明  
 R I 会長代理ご夫妻紹介 ガバナー 福家 宏  
 来賓・バストガバナー紹介・地区大会役員紹介 ガバナー 福家 宏  
 ガバナー挨拶 ガバナー 福家 宏  
 R I 会長代理挨拶 R I 会長代理 張 瑞 欽  
 14:40 合同研修会案内

## 合同研修会

大阪国際会議場 5F メインホール

15:00 開会 司会 今西 敦之 加藤有希子  
 開会挨拶 ガバナー 福家 宏  
 第一部：ロータリーの奉仕とは 第三ゾーン ロータリーコーディネーター バストガバナー 井上 暎夫  
 第二部：奉仕の現場からの報告 ①カンボジアでの奉仕活動 元R財団国際親善奨学生 西口三千恵  
 ②被災地支援活動 元R財団国際親善奨学生 倉内菜穂子  
 東日本大震災支援の謝辞 第2520地区 バストガバナー 伊藤 大亜  
 17:00 閉会

## 家族の集い

リーガロイヤルホテル 2F ベリドット

15:30 開会 司会 並河 勇人  
 「上方芸能の魅力を語る」 ①山本師と旭堂師のトーク 能楽師 山本 章弘 講談師 旭堂 南陽  
 ②講談 「竹の水仙」 講談師 旭堂 南陽  
 ③能 「羽衣」 能楽師 山本 章弘  
 17:00 閉会

## R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

リーガロイヤルホテル 3F 光琳の間

17:30 登録受付  
 18:00 開宴 司会 松下 和彦 加藤有希子  
 R I 会長代理ご夫妻入場  
 「歓迎の舞」 観世流 能楽 「高砂」 能楽師 山本 章弘  
 来賓紹介 ガバナー 福家 宏  
 ガバナー挨拶 ガバナー 福家 宏  
 R I 会長代理挨拶 R I 会長代理 張 瑞 欽  
 乾杯 R I 元理事 菅生 浩三  
 食事・歓談  
 閉会挨拶 八尾RC会長 高井 榮彌  
 ロータリーソング 「手に手つないで」  
 20:30 閉宴



# 大会プログラム (2日目) 2014年2月22日(土)

## 総合受付

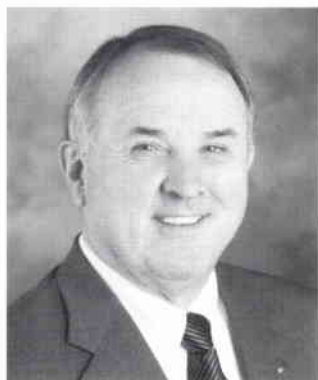
大阪国際会議場 5F ホワイエ

12:00~17:00 友愛の広場、ロータリーグッズ販売、パネル展示、ドリンクサービス

## 本会議

大阪国際会議場 5F メインホール

13:00	開会	司会 松下 和彦 加藤有希子
	開会点鐘	ガバナー 福家 宏
	国歌・ロータリーソング斉唱	ソングリーダー 澤田 信子
	「君が代」「三民主義」「奉仕の理想」	ピアノ伴奏 山上 華子
	歓迎の挨拶	大会実行委員長 吉村 清明
	物故会員に黙禱	
	来賓祝辞	大阪市副市長 田中 清剛
	R I 会長代理ご夫妻紹介	ガバナー 福家 宏
	来賓・地区内役員 紹介	ガバナー 福家 宏
	参加クラブ紹介	
	青少年グループ紹介	
	R財団学友、米山奨学生学友会及び米山奨学生、RAC、IAC、	
	GSEアルムニ会、チームライラ、青少年交換学生	
	青少年交換学生 帰国報告	青少年交換学生 岩谷志帆子 山下 英香
	ガバナー挨拶・地区現況報告	ガバナー 福家 宏
	R I 会長代理挨拶・R I 現況報告	R I 会長代理 張 瑞 欽
	信任状委員会報告	信任状委員会委員長 バストガバナー 横山 守雄
	選挙委員会報告	選挙委員会委員長 バストガバナー 松本新太郎
	大会決議案上程	決議委員会委員長 バストガバナー 新谷 秀一
	大会決議案採択	ガバナー 福家 宏
	表彰式	ガバナー 福家 宏
15:06	休憩	
15:20	特別講演 「日本の進路と誇りある国づくり」	ジャーナリスト 櫻井よしこ
16:40	ガバナーエレクト紹介	ガバナー 福家 宏
	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト 泉 博明
	ガバナーノミニー紹介	ガバナー 福家 宏
	ガバナーノミニー挨拶	ガバナーノミニー 立野 純三
	ガバナーノミニー・デジグネート紹介	ガバナー 福家 宏
	ガバナーノミニー・デジグネート挨拶	ガバナーノミニー・デジグネート 松本 進也
	次年度ホストクラブ発表	ガバナー 福家 宏
	次年度ホストクラブ挨拶	大阪帝塚山RC大会実行副委員長 竹川 修司
	国際大会PR	
	新入会員登壇	ガバナー 福家 宏
	R I 会長代理講評	R I 会長代理 張 瑞 欽
	記念品贈呈	ガバナー 福家 宏
	閉会挨拶	ホストクラブ会長 柳 雄二
	閉会点鐘	ガバナー 福家 宏
	ロータリーソング 「手に手つないで」	ソングリーダー 澤田 信子
		ピアノ伴奏 山上 華子
17:30	閉会	



### ロータリアンならびに ご来賓の皆さまへ

2013-14年度  
国際ロータリー会長

ロン・D・バートン

この度は、2013-14年度地区大会にご出席いただき、妻のジェタ共々、心よりお礼申し上げます。

私どもは、これまで多くの地区大会に参加させていただき、ぜひ本大会にも出席させていただきたいと考えておりました。しかし、スケジュールの調整が付かず、誠に残念ながら、それはかないません。

皆さまにおかれましては、本大会でロータリーに関する知識と親睦を深めると共に、活動意欲をかきたて、全体として実り多いプログラムを楽しんでいただけると確信しております。

RI 会長代理も含めた講演者に耳を傾け、大会でのさまざまな行事や活動にご参加になるに当たっては、ロータリアンであること、ロータリー・ファミリーの一員であることの恩恵と機会を再確認し、それをぜひ、ロータリアンでない方々に伝えていただきたいと思います。このような努力は、ロータリーの会員増強のカギとなると考えます。

ロータリーは人々に知られない状態があまりにも長く続きましたが、もっと多くの人々に、ロータリーの会員が享受できる素晴らしい機会について教えてあげましょう。まず、ご友人にこの大会での経験や、クラブや地区が行っている活動を紹介してください。そして、例会や特別行事に招いてあげてください。これらは皆「**ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を**」もたらす素晴らしい方法です。

ロータリーは、深く实践すればするほど、そこから得るものが多くなります。ロータリーを实践していくに連れ、人生が、特に自分の人生がより豊かに変わっていくのを、私自身も経験しております。

本年度、ロータリーという素晴らしい機会についてより多くの方々に知っていただくようご尽力いただくとともに、あらゆるかたちでロータリーを实践していただくよう、お願い申し上げます。





## ロン・D・バートン ノーマンRC(米国 オクラホマ州)

---

2013-2014年度 国際ロータリー会長  
2011年 ニューオリンズ国際大会委員長  
2006-2010年度 ロータリー財団管理委員  
2008-2009年度 未来の夢委員会、副委員長  
1998-2000年度 RI理事  
1992年および1995年 規定審議会代表議員  
1979年 米国オクラホマ州 ノーマンロータリークラブ

ロン・D・バートンRI会長は、2007年に退職し、退職直前はオクラホマ大学財団会長を務めていました。アメリカ法律家協会の会員で、米国最高裁での弁護が認められています。自身が設立したノーマン公立学校基金の元会長であり、同じく自身が設立したノーマン・コミュニティ基金では理事を務めました。米国ボーイスカウトでは評議会副会長を務め、シルバー・ビーバー賞を受賞しました。1979年にロータリアンとなり、RI理事、財団副管理委員会、国際協議会モデレーター、委員会委員長、恒久基金米国アドバイザー、RRFC、RI会長エイドを歴任しました。RI超私の奉仕賞、財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞を受賞しています。

米国連邦最高裁判所弁護士協会、オクラホマ州弁護士協会、クリーブランド郡弁護士協会の会員、米国弁護士会の会員として、非課税法人委員会、米国弁護士会慈善組織のための不動産・遺言検認・信託委員会の委員も務める同氏は、米国ボーイスカウトのラスト・フロンティア・カウンシルの副会長を務め、シルバー・ビーバー賞を受賞しています。また、ノーマン・ユナイテッド・ウェイのジュニアリーグ・ボランティア最優秀市民賞も受賞しています。

ジェタ夫人との間には、2人のお子さんと3人のお孫さんがいます。



第3510地区  
パストガバナー

### 張 瑞 欽 ちょう ずい きん

ご参加の来賓の方々、パストガバナーの方々、各クラブの会長、会員の皆様、こんにちは!

先程ご紹介を賜りましたロン・D・バートンRI会長代理であります第3510地区所属のパストガバナー張瑞欽と申します。

RI会長代理として、第2660地区の年次大会に参加出来ます事、大変光栄に存じます。地区年次大会は、温かいロータリアンの集まる場所です。ロータリーの友情や経験を分かち合いすることが出来ます、したがって私は、大会のご成功をお祈り申し上げます。

思えば、私は貴地区とは縁が深いです。1978年私が所属のロータリーである台湾高雄西區ロータリークラブが成立した2年目の時、当時、私は親睦委員長を担当し、創立会長が私に日本のロータリークラブと姉妹クラブ締結する計画を実行しなさいと言われました。

当時私は台湾と縁の深い大阪に初めての姉妹クラブ締結を希望し、私とビジネスの関係にある日本触媒の今中次長を通して第2660地区のガバナーの推薦で大阪西ロータリークラブを姉妹クラブ候補に決定しました。当時の安井快之会長、瀧沢副会長及び中西正二前会長(1985-86ガバナー)との情熱ある話し合いのもとで、お陰様で両社クラブが姉妹ロータリークラブの締結に至りました。それより既に36年の歳月が経過しました。

2005年に大阪地区のパストガバナー神崎茂様がガバナー担当の年でした。私は当時大阪の第2660地区の年次大会にも参加しました。その他のビジネス上では、私が創立した華立企業株式会社と大阪に本社のある長瀬産業やグンゼ株式会社と台湾でジョイントベンチャーをつくりました。従って大阪は私にとって特に思い出深い、懐かしい所でございます。

今年のRI会長のテーマである「Engage Rotary Change Lives」。またRI Assemblyの中で「我々一人一人がロータリーに奉仕、社会現状の改善に努力し、ロータリーの奉仕の中で、ロータリアンの皆さんが出来る限り、沢山奉仕することが、多ければ多い程、その結果、得るものも余計多くなります。但し、表面的な努力だけでは、得るものには限度があり、且つ大きな達成感は得られないと思います。

一方、皆さんが真摯に、ロータリーの活動に参加すれば即ち、ロータリーの奉仕やその価値観は皆様が信じられない程の大きな影響力を生み出すことが出来ると確信します。

従いまして、皆さんはインスピレーションや情熱を見つけ出して、各々の職場で活躍し、いい方向に改善することができるでしょう。他人の人生ばかりではなく、自分の人生も豊かにできると信じます。

2013-14年、この年に私は皆さまが「ロータリアンとして、人生を豊かにすること」に挑戦していただきたい。皆さまは既にロータリーのバッジを選択されました。それは会員としての重大責任と最高の荣誉でございます。

最後に、我々ロータリアンはRI会長のスローガンを肝に銘じ、一致団結、一丸となって、精一杯努力を期待して止まない次第でございます。



# 国際ロータリー会長代理 略歴

## PDG 張瑞欽 PLASTIC (高雄西区ロータリークラブ)

生年月日 1935年10月12日  
勤務先 株式会社華立企業  
所在地 高雄市中正四路235号10階  
職業分類 プラスチック生産・販売  
経歴 国立成功大学化工科卒業  
職歴 華立集團会長 兼 株式会社華立企業 社長  
株式会社華宏新技 社長

ロータリー歴 アーチC.クランプ協会会員、ポール・ハリス・フェロー 38回、ベネファクター 198回、ポリオ撲滅の寄付10,000ドル、中華ロータリーの寄付126万元、台湾ロータリーの寄付25万元

1977年 高雄西区RC入会  
1981~82年度 クラブ会長  
2003~04年度 国際ロータリー第3510地区ガバナー  
2004~05年度 地区GSE委員長  
2005~06年度 地区会員発展研修会委員長  
2006~07年度 会長エレクト研修セミナー委員長  
2005~08年度 国際ロータリー南亞及び東南亞地区ロータリー発展委員  
2007~08年度 地区大会実行委員長  
2008~09年度 国際ロータリー香港、マカオ及び台湾地区ロータリー財団恒久基金委員、地区チーム研修セミナー委員長、ガバナー・ノミニー委員長  
2009~10年度 国際ロータリー10B地区保健飢餓防止協調役、国際ロータリー香港・マカオ及び台湾地区ロータリー財団恒久基金委員、R13310馬新地区大会RI会長代表、日台ロータリー親善会議理事、中華ロータリー財団監査役  
2010~11年度 地区会長エレクト研修セミナー委員長、国際ロータリー香港・マカオ及び台湾地区ロータリー財団恒久基金委員、日台ロータリー親善会議理事、3510地区RI規定審議会委員代表、アーチC.クランプ協会会員  
2011~12年度 地区広報委員会主任、日台ロータリー親善会議理事、国際ロータリー台湾総会理事  
2012~13年度 地区大会実行委員長、国際ロータリー10B地区パブリックイメージアシスタント協調役、国際ロータリー3810マニラ地区大会RI会長代表、日台ロータリー親善会議常務理事、国際ロータリー台湾総会監事、リスボア世界大会友誼の家台湾館実行委員長  
2013~14年度 地区パブリックイメージ委員会主任、地区パブリックイメージ研修会議長、地区日台ロータリー親善会議委員長

その他 中華民国強化プラスチック協会理事長、中国科学会高雄分会理事長、成大化工文教財団法人会長



2013-14年度  
国際ロータリー第2660地区ガバナー

**福家 宏** ふけ ひろし

2013-2014年度R I第2660地区地区大会開催に際しまして、R I第3510地区パストガバナー張瑞欽様をR I会長代理としてお迎え出来ますことは、誠に望外の喜びでございます。遠路台湾からお越し下さいました、張瑞欽様、林淑貞様ご夫妻を心から歓迎申し上げますとともに、どうかよろしくご指導賜りますよう、R I第2660地区ロータリアン一同を代表してお願い申し上げます。またR I会長代理のエイドをお務め下さっております若林紀男PGご夫妻には深甚の謝意を表したいと存じます。

此の度は姉妹クラブの台湾高雄西南RCや、友好クラブの真庭RCを初め、他地区ガバナーなど地区外からも多数ご参加を頂き、深く感謝申し上げます。また当地区内83クラブのロータリアンやご家族の皆様方、多数のご参加に心から厚く御礼申し上げます。

今年度R I会長ロン・D・バートン氏は今年度R Iテーマを「Engage Rotary Change Lives」「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」とされました。皆様がどれほどの達成を遂げようと、今年度にどのような奉仕を行おうと「一番豊かになるのは、皆さん自身の人生だ」と説かれました。またこのテーマの根源にあるものは、アーサー・シェルドンが示した文言、「One profits most who serves best」「最も良く奉仕する者、最も報いられる」というロータリーの公式標語であります。これはロータリーの原点とも言うべきもので、全てのロータリアンは今一度これらのテーマや標語の意味を噛みしめて、自らの活動指針を明確にしておく必要があるでしょう。

ロン・D・バートン会長は1985年以来ロータリーはポリオ撲滅活動を本格化させ、GPEI(世界ポリオ撲滅推進計画)を立ち上げ、ポリオ常在国の数を125カ国から3カ国にまで減少させ、撲滅の時が間近であり、今こそ地球上のポリオの根絶に向けて最後の戦いを強力に進めなければならないこと、この戦いを続けるならば2014年末までに撲滅活動そのものは終結の時を迎えることが出来るだろう、と説かれました。

私は今年度地区方針を「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」とし、Participate ~参加し、敢行しよう~と呼びかけました。私は一人でも多くのロータリアンにR Iやロータリー財団のプログラムに参加をして頂きたいのです。ロータリーの実践が困難を伴う時には、勇気をもって敢行して頂きたいのです。そしてその実践が実を結んだ時には、ロータリアン自身が感動し、自らの人生を豊かにすることが出来るのです。さらに実践の恩恵を受けた人々がいるならば、彼らの人生をきっと豊かにすることも出来るのです。つまり私はロン・D・バートン会長が掲げられたR Iのテーマを、言葉を変えてロータリアンの皆様に訴えかけているわけでございます。

地区大会第1日目、開会式の後に合同研修会を開催致します。先ずロータリーコーディネーターの井上暎夫PGに「ロータリーの奉仕とは」と題して、私たちの奉仕のあり方について、ご講演を頂きます。これに続いて奉仕の現場で汗を流し、献身的な奉仕活動の中に身を置いているお二人の元R財団国際親善奨学生に、「奉仕の現場からの報告」と題して、生々しい奉仕活動の実態について語って頂きます。

大会第2日目には国家基本問題研究所理事長の櫻井よしこ様による特別講演を企画致しました。「日本の進路と誇りある国づくり」と題した講演で、現在の日本が置かれている立場やこれから日本人がどのように誇りある国づくりに取り組んで行くかについて興味深いお話をお聞き頂きます。

今大会終盤には新しく入会された会員の皆様方にご登壇頂くことになっておりますので、皆様から心温まるエールをお送り下さい。

最後になりましたが、この大会の企画・設営・進行に全力で携わって頂きました地区大会実行委員会 吉村清明実行委員長初め、実行委員会の皆様、コ・ホストをお勧め下さいました八尾RC、大阪柏原RC、八尾東RCの皆様、サポートクラブの多くのロータリアンの皆様に衷心より厚く御礼申し上げます。

## 福家 宏 (八尾中央ロータリークラブ)

---

- 生年月日 1943年1月1日  
勤務先 医療法人 福家医院  
所在地 〒581-0831 八尾市山本町北4-5-13  
経歴 1972年 大阪市立大学医学部卒業、大阪市立大学医学部附属病院・大阪市立桃山市民病院他  
1987年 福家医院開業 現在に至る  
職業分類 小児科医
- ロータリー歴 1985年 八尾東ロータリークラブ入会  
1991年 八尾東ロータリークラブ退会(業務多忙のため)  
1995年 八尾中央ロータリークラブ入会  
1998~99年度 クラブ幹事  
2007~08年度 クラブ会長
- 第2660地区 2000~02年度 ポリオプラス委員  
2002~03年度 財団法人道的補助金委員会委員  
2004~05年度 財団法人道的補助金委員会委員  
2005~07年度 財団法人道的補助金委員会委員長  
2008~09年度 ロータリー財団副委員長  
2009~12年度 ロータリー財団委員長  
2010~12年度 財団FVP委員会委員長  
2011~13年度 災害支援プロジェクト副委員長
- その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、メジャードナー、  
米山功労者(マルチプル)





地区大会委員長  
八尾中央ロータリークラブ

### 吉村 清明 よしむら きよあき

2013-2014年度国際ロータリー第2660地区地区大会を開催するにあたり、国際ロータリー会長代理第3510地区バスタガバナー張 瑞欽先生ご夫妻をお迎えして、大阪国際会議場並びにリーガロイヤルホテルで開催させて頂きましたところ、ご多用にも関わらず多数のご来賓のご臨席を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。地区内は勿論、海外並びに他地区の多くの友人達、更に大震災を受け未だ厳しい環境の東日本からも多数のロータリアンとご家族の皆様方が遠路ようこそお越しいただきました。心より歓迎し御礼を申し上げます。

ロータリアン各位におかれましては、日々、ロータリーの精神に沿い親睦と奉仕活動にご活躍のこととお喜び申し上げます。

2013-2014年度のRIテーマ「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」に始まり、地区方針「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」へと進み、更に地区大会テーマは「明るい日本の未来に向かって」を基に地区大会を計画いたしました。

今年度の第一日目の開会式で、従来の「分科会」を「合同研修会」形式として、このメインホールにおいて、出席者全てが同じテーマでご講演とご報告を聞いて戴きます。

「合同研修会」の第一部は、第3ゾーン ロータリーコーディネーター 井上暎夫バスタガバナーから「ロータリーの奉仕とは」のご講演いただき、第二部は「奉仕の現場からの報告」と題して元ロータリー財団国際親善奨学生 西口三千恵様から「カンボジアでの奉仕」の報告、元ロータリー財団国際親善奨学生 倉内菜穂子様から「被災地支援」の活動報告をして戴きます。又、第2420地区 伊藤大亜バスタガバナーから「東日本大震災支援の謝辞」を述べられます。

「家族の集い」では、最初に能楽師 山本章弘様と講談師 旭堂南陽様のお二人のトークをお楽しみいただき、その後日本の伝統芸能であります「能」と「講談」を演じて頂きます。

夕刻からリーガロイヤルホテル「光琳の間」において、「RI 会長代理 張 瑞欽先生ご夫妻歓迎晩餐会」が執り行われますが、歓談が弾み楽しい晩餐会でありますようお願いいたします。

第二日目の本会議では、特別講演としてジャーナリストで国家基本問題研究所理事長 櫻井よしこ様をお迎え致しました。櫻井様は日本の独立国としての国家像、国民の国家意識、安全を守るための外交、防衛等について多くのご意見を発表されております。この度は「日本の進路と誇りある国づくり」についてご講演を頂きますが、興味深いお話が楽しみです。

今年度の地区大会の場で皆様方が素晴らしい仲間を増やし、次への奉仕活動につながりますことを願っております。

終わりにあたり、この地区大会開催に際し、ホストクラブの八尾中央RCが会員16名と少数クラブのため、コ・ホストクラブ、サポートクラブの計10クラブから多大なるご協力を賜りました。更に、すべてのロータリアンのご理解とご支援を賜りましたことに心から厚く御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

## 歓迎のことば



ホストクラブ  
八尾中央ロータリークラブ会長

柳 雄二 やなぎ ゆうじ

2013-2014年度国際ロータリー第2660地区地区大会開催にあたり、R I 会長代理 張瑞欽様ご夫妻はじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、また、多数のロータリアンとご家族様にご参加いただき、地区大会を盛り上げていただきましたことを、ホストクラブを代表しまして心より感謝と御礼を申し上げます。

本年度のR I テーマは「Engage Rotary Change Lives、ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」で、ロータリアンが積極的になれば、人々の人生を豊かにできると強調されています。

R I のテーマを受け、当地区方針として福家宏ガバナーは「感動の体験を!! 人々にも、自身にも Participate!! ~参加し、敢行しよう~ とされました。

地区大会実行委員会は、このR I テーマ、地区方針を实践すべく地区大会のプログラムを作成しました。

第1日目は「ロータリーの奉仕とは」について、ロータリーコーディネーターの井上暎夫PGからご講演をいただき、更に奉仕の現場から報告をしていただきます。また友愛の広場や家族の集い(2人のトーク~能楽師 山本章弘氏、講談師 旭堂南陽氏)など会員、家族の親睦を図って参ります。18時からは「R I 会長代理 張瑞欽様ご夫妻歓迎晩餐会」にご出席いただき、ご来賓の皆様と共に、楽しくお過ごしいただきたいと存じます。

第2日目の本会議では福家宏ガバナーの地区現況報告、R I 会長代理 張瑞欽様のR I 現況報告、特別講演として櫻井よしこ氏に「日本の進路と誇りある国づくり」をお話いただきます。また、昨年度に引き続き新しく会員になられた皆様と各クラブ会長にご登壇いただき、新しい会員様をご紹介します。

最後になりましたが、今大会の開催にあたり、コ・ホストクラブ、サポートクラブの皆様はじめ、関係者の方々には多大なご指導ご協力を賜りましたことを衷心より感謝いたします。

この2日間、ご参加いただきます皆様方にとりまして、印象深い有意義な地区大会になりますことを祈念いたしまして、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

# ガバナーエレクト、ガバナーノミニー 略歴



国際ロータリー 第2660地区  
2013-14年度 ガバナーエレクト

**泉 博朗** いずみ ひろあき

生年月日 1948年6月17日生  
職 業 泉行政書士事務所 所長  
株式会社テクノグループ 代表取締役  
所在地 〒543-0076  
大阪市天王寺区下寺町1-3-45  
経 歴 1972年 関西大学工学部卒業  
1972年 星電器製造株式会社入社  
1978年 泉行政書士事務所開設  
1981年 株式会社テクノグループ設立  
(IT関連)  
職業分類 医療情報システム  
ロータリー歴 1990年 大阪住吉ロータリークラブ入会  
※2011年に大阪阿倍野ロータリークラブ、  
大阪住之江ロータリークラブ、大阪住吉ロ  
ータリークラブが合併して大阪帝塚山ロー  
タリークラブに名称変更  
2008~2009年度  
大阪住吉ロータリークラブ会長  
第2660地区 2005~2007年度  
青少年活動委員会委員長  
2010~2011年度  
IM第8組ガバナー補佐  
そ の 他 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー  
ベネファクター  
米山功労者(マルチプル)  
公益財団法人  
大阪府レクリエーション協会 評議員



国際ロータリー 第2660地区  
2013-14年度 ガバナーノミニー

**立野 純三** たての じゅんぞう

生年月日 1947年3月8日  
勤 務 先 株式会社 ユニオン 代表取締役社長  
所在地 〒550-0015  
大阪市西区南堀江2-13-22  
経 歴 1970年 3月 甲南大学法学部卒業  
4月 株式会社 青木建設  
1973年 4月 株式会社 ユニオン  
7月 株式会社 ユニオン  
取締役就任  
1983年 3月 株式会社 ユニオン  
取締役副社長就任  
1988年 8月 株式会社 ユニオン  
代表取締役副社長就任  
1990年 3月 株式会社 ユニオン  
代表取締役社長就任  
職業分類 金物製造  
ロータリー歴 1989年 大阪ロータリークラブ入会  
1993年度 ローターアクト委員会委員長  
1996年度 クラブ幹事  
2004年度 プログラム委員会委員長  
2005年度  
ロータリー財団委員会委員長・理事  
2008年度 社会奉仕委員会委員長・理事  
2010年度 会員増強委員会委員長  
2013年度 会長  
第2660地区 1994年度 ローターアクト委員  
1995年度 ローターアクト委員  
2001年度 代表幹事  
そ の 他 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー  
ベネファクター  
メジャードナー  
米山功労者(マルチプル)



# ガバナーノミニー・デジグネート 略歴



国際ロータリー 第2660地区  
2013-14年度  
ガバナーノミニー・デジグネート

**松本 進也** まつもと しんや

生年月日 1947年2月20日

勤務先 松本商事株式会社  
松本興業株式会社  
松本フード株式会社

所在地 大阪市中央区難波千日前9-11

経歴 1969年 慶應義塾大学商学部卒業  
株式会社三和銀行入行  
(現・株式会社三菱東京UFJ銀行)  
1971年 松本商事株式会社 専務取締役  
松本興業株式会社 同上  
1983年 松本フード株式会社 設立  
専務取締役  
1996年 松本商事株式会社 代表取締役社長  
松本興業株式会社 同上  
松本フード株式会社 同上

職業分類 外食チェーン

ロータリー歴 1987年 大阪北ロータリークラブ入会  
1993年度 幹事  
1996年度 国際奉仕担当理事  
1998年度 友好委員長(理事)  
2001年度 S.A.A.  
2002年度 国際交流委員長(理事)  
2003年度 副会長  
2008年度 会長  
2011~13年度  
創立60周年記念行事実行委員長

第2660地区 1999年度 拡大委員会委員  
2000年度 地区副代表幹事、拡大委員会委員  
2001年度 拡大委員会委員  
2003年度 地区幹事  
2004年度 地区代表幹事

その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター  
米山功労者(マルチプル)  
連続25年皆出席(2012年度時点)

## 東日本大震災支援への謝辞



国際ロータリー第2520地区 バストガバナー (水沢東RC)  
復興支援プロジェクトチーム リーダー

### 伊藤 大亜 いとう ひろつぐ

第2520地区、正に3年前の東日本大震災の被災地区から参りました伊藤大亜と申します。

私自身は被災地区から参りましたが被災者ではございません。

東日本一帯を壊滅状態としました震災の直後は義捐金と支援物資や、多くのボランティアの人々で異様な活気に満ちておりました。

当時ロータリアンから寄せられましたご支援は数十億円相当にのぼっておりますが、当地区に寄せられました物資はコーディネーターの桑原茂さんと私共水沢東ロータリークラブが主な集荷基地となりまして毎日のように4トントラック数台分を約3か月間、沿岸の被災地に送り続けました。

本日は被災地の現状を話してほしいとの事でしたが、まずは皆様のご支援に対し心からお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

それから約3年がたちましたが、海拔15メートル以下の地域はすべて流され、いまだに手つかずのまま、後には只、草がぼうぼうと生い茂っているのが実状です。仮設住宅では、仕事もなく目的もなく毎日を只漫然と過ごしながら、散歩したりパチンコをしたりと言う、正に仮の生活を強いられております。

従来跡地に仮の店舗を開設はしたものの、過疎化する跡地での営業は先が全く見えてはおりません。更に気の毒なのは体の不自由になったお年寄と、家族や両親を失い、将来の生活設計を立てられない子供達です。人道的奉仕活動を謳い、教育的奉仕を唱えている我々ロータリアンは、この現実を見過ごす訳には参りません。

正に復興はこれからです、少なくとも風化してはなりません、継続することにこそ意義があるのです。

被災地の人々に勇気と希望を与え、自らが立ち上がるきっかけを作らなければなりません。

皆様の英知を結集して被災地を救って頂きたいのです。

現状を踏まえホームページを立ち上げました。

<http://www.311fukkouproject.jp> でございます。

ご協力を切にお願い致しましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

## 伊藤 大亜 (水沢東ロータリークラブ)

---

- ロータリー歴 1989年 水沢東ロータリークラブ入会  
1990年 コナマウカRCと友好クラブ締結  
1995年度 クラブ幹事  
1999年度 クラブ会長  
2010年度 311復興支援プロジェクトチーム立ち上げ(有志)
- 第2520地区 1991~92年度 研究グループ交換(GSE)委員  
1993~96年度 青少年交換委員会委員  
1994~95年度 青少年短期海外研修派遣団団長としてテキサス州5830地区へ  
1996~97年度 国際奉仕委員会委員長  
1997~98年度 初代新世代委員会委員長  
1998~99年度 ロータリー財団委員会委員長  
2000~03年度 米山記念奨学会評議員  
2001~02年度 地区ガバナー  
2002~04年度 ロータリーの友顧問、米山記念館役員  
GSE派遣団団長として米国ペンシルバニア州7390地区へ  
2003~05年度 新世代委員会委員長  
2005~08年度 ロータリー財団委員会委員長  
2008~09年度 李東建RI会長代理として第2600地区(長野県)地区大会に派遣  
2009~11年度 奉仕研修委員会委員長  
2012~13年度 規定審議会代表議員  
2013~14年度 ロータリー財団副委員長、資金推進委員会小委員長
- そ の 他 1991~92年度 ガバナー賞 受賞  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
メジャードナー  
米山功労者  
遺贈友の会会員





大阪府知事

**松井 一郎** まついいちろう

国際ロータリー第2660地区2013-2014年度地区大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。また皆様には、日ごろから大阪府政の推進に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

国際ロータリー第2660地区の皆様におかれましては『感動の体験を!! 人々にも自身にも』の地区方針のもと、「ロータリーを実践することで感動を覚え、その感動を多くの人々と共有し、平和な世界と日本の未来に向かって奉仕し貢献する」ことを一連のテーマとして、地域社会と連携、協力しながら様々な分野で活動を展開されています。

これまでの皆様のご尽力に、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、経済面でもようやく回復基調がみられる中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、日本全体に明るい兆しを感じる年となりました。

また大阪においても、うめきたの先行開発区域グランフロント大阪の開業といった、明るいニュースがありました。

知事就任以来「大阪の再生」が「日本の成長をけん引する」という強い意志の下、「変革と挑戦」の取組みに全力を注いでいるところです。

就任3年目を迎える本年は、「国家戦略特区」や大阪が全国に先駆けて取り組む「新たな大都市制度」等を通じて、大阪から「改革」を着実に進め、実を結ばせたいと強く思っています。「大阪が変われば日本が変わる。」を信念に、首都圏とともに日本の成長をけん引し、東西二極の一極を担う「強大大阪」を目指して、さらなる飛躍の年にしたいと思います。

国際ロータリー第2660地区の皆様には、引き続き、大阪府政の推進にご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、国際ロータリー第2660地区のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

●来賓

R I 会長代理	張 瑞 欽	林 淑 貞	(台湾高雄西)
R I 理事エレクト	杉谷 卓紀		(玉名)
元R I 理事	菅生 浩三		(大阪北)
元R I 理事	近藤 雅臣	近藤 淑子	(千里)
第1ゾーン ロータリーコーディネーター	桑原 茂		(塩釜)
第3ゾーン ロータリーコーディネーター	井上 暎夫		(千里)
R I 会長代理エイド	若林 紀男	若林 俊子	(大阪東)
第2530地区ガバナー	渡邊 公平	渡邊 裕子	(いわき勿来)
第2550地区ガバナー	飯村 慎一	飯村 聡子	(宇都宮90)
第2580地区ガバナー	吉田 建二	吉田 英子	(東京田無)
第2640地区ガバナー	久保 治雄		(泉州KUMATORI)
第2670地区ガバナー	関 裕司	関 敬子	(高知)
第2690地区ガバナー	森本 信一	森本 栄子	(津山)
第2760地区ガバナー	田中 正規		(西尾)
第2790地区ガバナー	関口 徳雄	関口 俊子	(浦安)
第2800地区ガバナー	新関彌一郎		(天童東)
第2830地区ガバナー	北山 輝夫	北山喜美枝	(八戸北)
第2840地区ガバナー	本田 博己	本田由美子	(前橋)
第2510地区パストガバナー令夫人		佐々木政子	(札幌)
第2520地区パストガバナー	伊藤 大亜	伊藤 茉莉	(水沢東)
ロータリーの友事務所 所長	渡辺 誠二		(東京みなと)
米山記念奨学会	岩邊 俊久		
元国際親善奨学生	倉内菜穂子		(豊中一大阪国際空港)
元国際親善奨学生	西口三千恵		(東大阪東)
Litech Consulting 代表	Peter Z.Li		

# 地区関係・他地区関係

## ●地区関係

バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 バストガバナー  
 直前ガバナー  
 ガバナーエレクト  
 ガバナーノミニー  
 ガバナーノミニー・デジグネート  
 IM第1組ガバナー補佐  
 IM第2組ガバナー補佐  
 IM第3組ガバナー補佐  
 IM第4組ガバナー補佐  
 IM第5組ガバナー補佐  
 IM第6組ガバナー補佐  
 IM第7組ガバナー補佐  
 IM第8組ガバナー補佐  
 IM第1組ガバナー補佐エレクト  
 IM第2組ガバナー補佐エレクト  
 IM第3組ガバナー補佐エレクト  
 IM第4組ガバナー補佐エレクト  
 IM第5組ガバナー補佐エレクト  
 IM第6組ガバナー補佐エレクト  
 IM第7組ガバナー補佐エレクト  
 IM第8組ガバナー補佐エレクト  
 福家ガバナーご家族

戸田 孝	戸田 操	(八尾)
大森 慈祥	大森 保子	(茨木)
寺田 和之	寺田 初子	(大阪)
神崎 茂		(大阪西)
岩田 宙造	岩田 善子	(大阪南)
新谷 秀一	新谷 秀子	(池田くれは)
横山 守雄	横山 悦子	(大阪中央)
大谷 透	大谷 玲子	(大阪西南)
松本新太郎	松本悠美子	(八尾)
岡部 泰鑑	岡部真由美	(大阪城南)
高島 凱夫	高島 郁子	(大阪中之島)
泉 博朗	泉 三恵子	(大阪帝塚山)
立野 純三		(大阪)
松本 進也	松本 章子	(大阪北)
正岡 哲	正岡真喜子	(池田くれは)
井上 義信	井上 充代	(吹田)
亀井 信昭	亀井 二美	(寝屋川)
辻本 一義	辻本美代子	(東大阪)
川崎 壽		(大阪中央)
山田 英男		(大阪城北)
杉浦 敬久	杉浦 和子	(大阪船場)
新見 葵		(大阪天王寺)
西宮 富夫		(箕面)
簡 仁一		(茨木)
西邨 智雄		(香里園)
井川 孝三		(八尾)
緒方 満		(大阪北)
戸田 和孝		(大阪東淀ちゃやまち)
矢田 勝利		(大阪南西)
川上 善司		(大阪平野)
福家 麻衣子	コンラッド・バトツグ	
福家 顕宏		

## ●他地区関係

第3510地区  
 第3510地区  
 第2520地区  
 第2520地区  
 第2520地区  
 第2690地区  
 第2640地区

黄 明良 (高雄壽山)  
 高雄西南RCの皆様  
 佐藤 勝巳 (水沢東)  
 岩脇 洋一 (大船渡西)  
 濱守 豊秋 (大船渡西)  
 真庭RCの皆様  
 堺フェニックスRCの皆様



国際ロータリー会長代理  
国際ロータリー第3510地区パストガバナー

## 張 瑞 欽 ちょう ずいきん

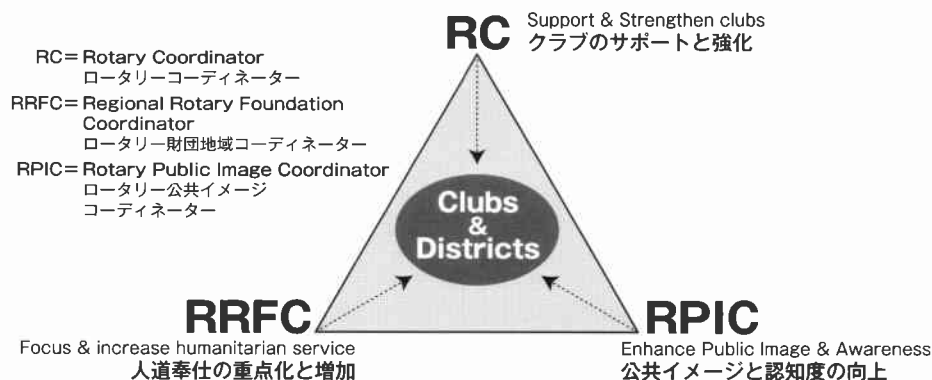
国際ロータリーは1905年にPaul Harrisが創設して以来、約100年が経過しました。最初の頃の奉仕は友情とロータリアン間の相互奉仕でした。つまり「奉仕を最も多くし、最大の益を得る」ことでした。ただ私たちロータリアンが事業を育て、そして助けを必要とする非ロータリアンに奉仕する方向になって行きました。其れより、奉仕は各地区に重大な変化をもたらしました。それでもロータリーが存続し、一世紀以上にわたって継続して参りました。この変化の中で、各ロータリアンや、各ロータリークラブ、各地区を通じて、其々、各々の奉仕をし、人々や地域をいろいろな方法で支援しました。

例えば健康 (Health)、飢餓 (Hungry)、人道 (Humanity) などの所謂 3H 計画、或いは Polio [ポリオ] 撲滅支援などの活動を合理的かつ秩序のある方式で整理し、最大の効率をもたらす必要があります。永年の思考と試験を通じて、ついに R I は戦略計画を定めました。

即ちそれは Core Essence (真髄の核)、Core Value (価値の核)、Motto (座右の銘)、及び Three Strategic Priority (3つの戦略的優先事項) で、2010年 Rotary 年度から開始実施されました。Rotary 財団も未来 Vision の六大活動重点 (6 Areas of Focus) を定め、2013年 7月 1日より開始実施しました。両者は協力しあい、我々の Rotary 活動を強化しています。以下の通り説明いたします。

1. 真髄の核：鼓舞された個人の世界的な net work。その人達は自分の情熱を社会奉仕活動に転化させ、その地域の生活を改変させる。
2. 価値の核：Service (奉仕)、Fellowship (親睦)、Diversity (多様性)、Integrity (高潔性)、Leadership (リーダーシップ)
3. 座右の銘：自分の事より相手を考えて活動
4. R I 戦略計画の 3つの優先項目：(1)クラブのサポートと強化  
(2)人道奉仕の重点化と増加  
(3)公共イメージと認知度の向上

ここに R I の 3つの優先計画を下の三角図を使って、R I の現況報告をしましょう。



### クラブのサポートと強化

Rotaryの会員を増強し、Rotaryを強化することが最も重要な議題の一つです。各Rotaryを強化することがすなわち国際Rotary組織を強化することになります。

我々 Rotaryの会員はここ数年ずっと120万人で停滞したままです。我々 Rotaryの会員は2012年6月30日で1,227,189人です。その中でアジアが28%、北米が31%、欧州・アフリカ・中近東が25%、英国・アイルランド5%、ラテンアメリカ8%、オーストラリア・ニュージーランド及び太平洋諸島3%です。

下の表を見て下さい。過去5年間の会員数のトレンドです。会員数が殆ど変わってないことが分かります。

2009年6月30日	2010年6月30日	2011年6月30日	2012年6月30日	2013年6月30日
1,234,527	1,227,563	1,223,413	1,227,189	1,208,660

R I 理事会は新しい目標をたてました。それは2015年6月30日までに会員数を130万人にすることです。この目標を達成するためにR I 理事会は、新しいクラブを設立する時の会員数を25人から20人に下げました。そして各クラブを支援するためにRotary Club Centralを作りました。Rotary Club Centralはオンライン計画ツールで、クラブや地域が目標をたてたり、過去数年間にわたる会員数、活動、或いは公共関連資料を分析する手助けをするのです。

理事会はまた、地域の会員計画を発展させるためにロータリアンによる6つの地域を作りました。その計画は其々の地域の文化の範囲内で会員数の増加と維持に努力します。このことは異なる6つの地域が、この3年間自分自身の会員増強計画を立てることを意味します。この地域とはオーストラリア、ニュージーランドと太平洋諸島、インドネシア、中近東、フィリピン、台湾です。

PHFバッジに似た新しい認定バッジが新会員をサポートする人に与えられます。

更にRotaryを通して、手本となるべき人道活動を行ったロータリアンの配偶者あるいはパートナーに新しい賞が与えられます。

### 人道奉仕の重点化と増加

第2番目の戦略的優先項目は「将来Vision」に基づいたRotary財団の活動内容を中心としている。補助金授与のプロセスが合理化され簡素化されている。各Rotaryはオンラインで補助金の申請をするだけでよい。

6つの大きな重点項目(次を参照)の中で、大規模な計画また永続的かつ重要な計画であれば、補助金の獲得が容易となる。6つの大きな重点項目とは、

(1)平和と紛争予防/紛争解決 (2)疾病予防と治療 (3)水と衛生 (4)母子の健康 (5)基本的教育と識字率向上 (6)経済と地域社会の発展

RCと地区には次の3つの補助金プログラムがある。それは地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントの申請です。

新しい補助金制度の下でも、ポリオ撲滅支援金、平和奨学金、疫病治療計画の資金援助は引き続き行われます。

今年Rotary財団管理委員長のPRIP D.K.Leeは次の目標を提出しています。我々は共に努力してこの目標を達成しましょう。

1. ポリオの撲滅。
2. 財団に対する自覚と誇りを育むこと。
3. 新しい補助金モデルの導入。
4. 革新的なプロジェクトへの参加。

更に私は皆様に2011-12年度の前の十大寄付国家について報告を致します。

2011-12年はアメリカが総額7,300万US\$の寄付(ビルゲーツの寄付を含む)で第1位。日本はアジアでトップで総額1,780万US\$。ここで私は台湾を自慢したい。台湾は総額650万US\$で第6位ですが、しかし一人あたりの寄付額は179US\$で世界1位です。

## 公共イメージと認知度の向上

我々の一つの目標は、2015年6月30日までに会員数を130万人に到達させることです。現在の世界の経済情勢では達成は非常に困難です。

Rotaryのイメージアップを図るため、また人々にRotaryを認識して貰うために、我々はSiegel+Gal顧問会社に広汎な研究を依頼しました。Siegel+Gal顧問会社は我々のpositionを調べて、以下のように述べました。

もしも我々が自分自身を奉仕組織としておし進めるなら、我々は国際ライオンズクラブや同経会に似たものになる。もしも我々が自身を人道組織とみなすなら、世界に200万以上あると言われてる人道組織と競合するでしょう。しかし我々は単なる奉仕組織や人道組織ではないのです。

我々は唯一無二のもので

粘り強さでいえば、ポリオ撲滅の作戦を見て貰えば判ります。我々は1985年にWHO(世界衛生組織)、UNICEF(連合国児童基金)及び米国疾病予防Centerとパートナー関係を結びました。我々は殆ど目標を達成してます。我々は仕事を完成させる情熱について初めから終わりまでずっと不変です。

我々はその他ブランドを作った経験のある非営利組織…例えばYMCA、アメリカ赤十字会、Care International、Heifer International…を調査検討しました。結論はブランドは非常に大事です。我々は自分のブランドを作る必要があります。

我々が一緒に素晴らしいRotaryのブランドを作りましょう。そして我々は会員を増強する事により、2015年6月30日の130万人の会員を達成させましょう。

今年7月1日から、RIの推進する三大優先計画とTRF将来visionの6大重点新領域が相互に協力する最初の年になります。我々皆と一緒に努力し、Rotaryの奉仕を十分に行い、Rotaryのイメージアップを図ることを希望します。ここに第2660地区が更なるご発展されることを心よりお祈りいたします。

最後に、2014年6月1日～4日にシドニーで国際大会が開催されます。RI会長Ron Burtonは私に代理として是非皆様に参加要請してくださいと、特別に依頼を受けました。どうか皆様のご参加をご期待いたします。



2013-14年度  
国際ロータリー第2660地区ガバナー

**福家 宏** ふけ ひろし

## 1. 地区の方針

私は地区ガバナーとしてR Iテーマの「Engage Rotary Change Lives」を受けて地区の方針は「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」とし、Participate という東ヶ崎潔元R I会長のR Iテーマを借用して、参加と敢行を呼び掛けております。しっかりとした活動計画のもと、効果的な奉仕活動を実践して感動体験をすることで、人々にも自分自身にも満足感が与えられます。このことが次の奉仕活動への原動力やバネの働きを致します。私は一人でも多くのロータリアンに奉仕を実践して頂きたいと考え、この思いを地区内ロータリアンに伝えております。

## 2. 地区研修委員会

当地区の地区研修委員会は、第3ゾーンのロータリーコーディネーターである井上暎夫PGがリーダーをお務めになり、12名により構成されています。(4名のPGと8名の委員)

同委員会はロータリアンに対しロータリーの理念と実践の方法を示すための「ロータリー心と実践」というテキストを作成して、地区内全てのロータリアンに配付致しました。そしてこれは新しい制度に合うよう改訂が続けられています。委員会メンバーは自ら切磋琢磨し、地区内ロータリークラブの会員を真のロータリアンへと導くために努力を続けております。そして年に複数回、クラブ研修リーダーセミナーを開催しています。

## 3. 災害支援

2011年3月に発生した東日本大震災の復興支援を目的として、当地区では同年「災害支援プロジェクト委員会」を立ち上げ、効果的な支援を継続しています。この委員会には地区内の大多数のクラブから災害支援のための寄付金が寄せられ、2012年7月までに45件の支援プロジェクトを実施しました。

金額は¥130,250,919に上りました。その後2013年6月までの支援件数は9件、金額は¥4,849,550に上り、その後も支援活動は続いています。2012年6月までの活動内容の詳細と財務報告は、2012年7月142ページから成る「災害支援プロジェクト報告書」にまとめられ、地区内全クラブに配付致しました。

次に支援活動の1例について申し述べます。

岩手県大船渡市漁業組合は、壊滅的被害を受けた組合の一つです。当地区の1クラブはMGを利用されて、この組合に対して軽トラック5台を寄贈しました。この迅速な支援に同組合の岩脇洋一組合長は非常に感動しました。さらに当地区主導で¥14,500,000のユニック付大型トラックを寄贈しました。このトラックにより定置網漁が再開され、それは即座に収入に繋がりました。岩脇組合長は、自治体にも出来ないことがロータリーには出来るのだと感銘を受けて、自らロータリークラブ(大船渡西RC)の会員になられたのです。そして2014年2月の地区大会には、当地区に対して謝辞を述べるために来訪されスピーチをして頂くことになりました。

## 4. 青少年活動

当地区には「青少年奉仕プログラム」の一環として小学5年生、6年生を対象とした「少年少女ニコニコキャンプ」があります。地区の青少年活動委員会とホスト担当のクラブにより開催されます。RotaractorやRYLA終了者が小学生たちのリーダーとして活動しますので、このプログラムは彼らのリーダーシップの実践の場としても役立っています。年1回、夏休み中に2泊3日、大阪近郊で開催されます。少年少女たちにとっても、若いリーダー達にとっても有意義なプログラムです。

## 5. Future Vision Plan

Future Vision Planが全面開始となった今年度、当地区のロータリアンは3年前からFVP

について多くの情報を獲得し、新しい補助金制度を利用して大きな成果を上げております。もともと当地区は長年にわたり地域社会や国際社会に対する人道的プロジェクトの実施が活発でした。かつてWCSプログラムが盛んだったころ、プロジェクト件数は一時日本一でした。地区補助金やMatching Grantが開始されてからも毎年多くの人道的プロジェクトを実施して来ました。過去3年間と今年度の実績は下の表の通りです。

	DSG	MG		DG	GG
2010-11	26件	20件	2013-14	44件	6件
2011-12	25件	22件			
2012-13	25件	17件			

GG承認件数は現時点で日本一です。

2013年7月、FVPが全世界で始まりましたが、当地区でのグローバル補助金プロジェクトの承認件数はすでに6件に達し、日本一であります。これは当地区にロータリーを実践する意欲に溢れたロータリアンが多数存在することの証であります。そして彼らが十分に効果的に能力を発揮することが出来るのは、当地区の優れたリーダー達の献身的奉仕の成果だと考えられます。そして多くのロータリアンが、プロジェクトを実施することにより感動的な体験をし、人々や自分自身の人生を豊かにするという今年度のRIのテーマを実践していることは間違いありません。当地区の活動状況を評価したロータリー財団は、今年度2回目のロータリー財団地域セミナーにおいて当地区の溝畑財団委員長に対し、当地区の活発なグローバル補助金プロジェクトの申請、承認について講演するよう要請して参りました。無論溝畑委員長はこれに応えることが出来ました。

## 6. ロータリー財団への寄付

当地区の年次基金寄付額は、日本34地区内では第4位であり、低くはありませんが、更なる寄付として今年度年次基金寄付目標額は1人あたり150米ドルとしております。今年度誕生したポール・ハリス・ソサエティー・コーディネーターの呼びかけに応じて、今年度は12月までにメンバー数は17名となり、これも日本で第4位です。

## 7. 広報活動

今年度はRIより広報補助金を得て、TVコマーシャルを実現させました。内容は「ポリオ撲滅まであと少し!!」です。また地区のホームページを改良して地区内ロータリークラブの奉仕活動などの報告がアップロードし易くなりました。

また若い人々とのコミュニケーション戦略の一つとしてソーシャル・メディア・ネットワーク・システムの立ち上げを準備しており、間もなく稼働が始まります。

## 8. 会員の維持・増強

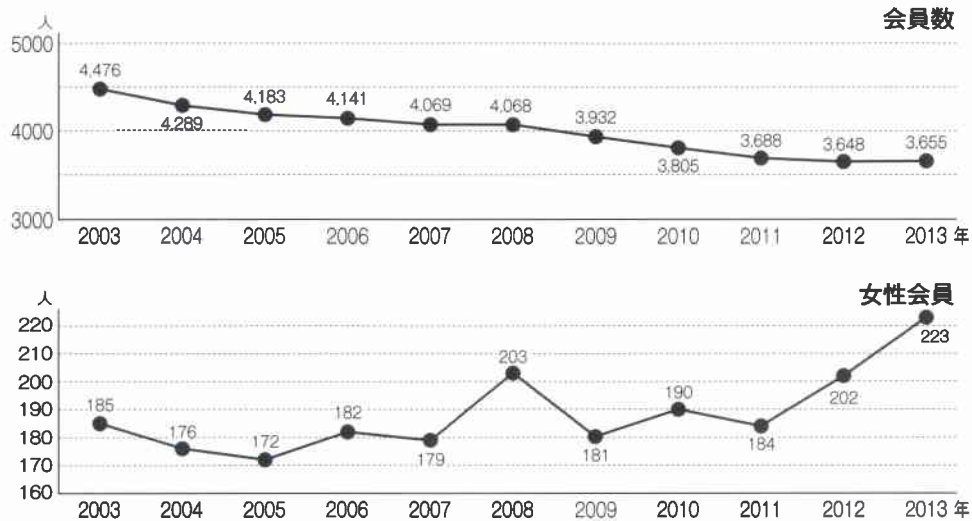
当地区の会員数は、5000名を超えていた時期もありましたが、経済状況の悪化を契機に下降の一途をたどりました。しかし直前ガバナーは「目指せ3900!!」という目標を掲げてご尽力され、結果的に昨年度は減少に歯止めがかかりました。しかし当年度の年初の会員数は3614名と3900名には遠く及ばず、今年度私は地区ガバナーとして会員増強は他人ごとでは無く、私自身の責務であり、ロータリアン一人一人の責務であることを、各クラブに強く訴えております。

規模の大きなクラブは比較的容易に会員数を増やし、小規模のクラブほど会員増強が困難であるという現象が明確になっています。小規模クラブはクラブの運営形態の改善を余儀なくされているのが現状であります。

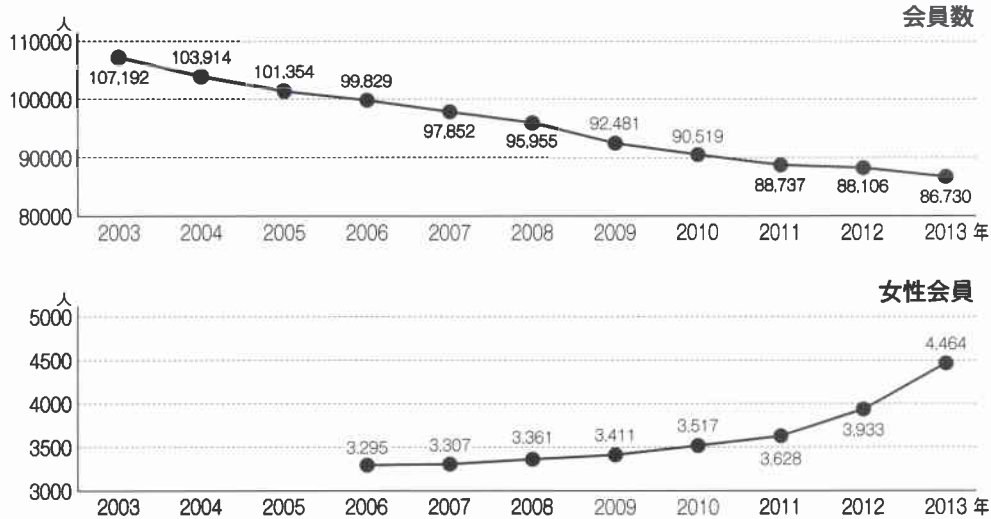
会員数の推移をみるとこのようになります。

## 会員数の推移

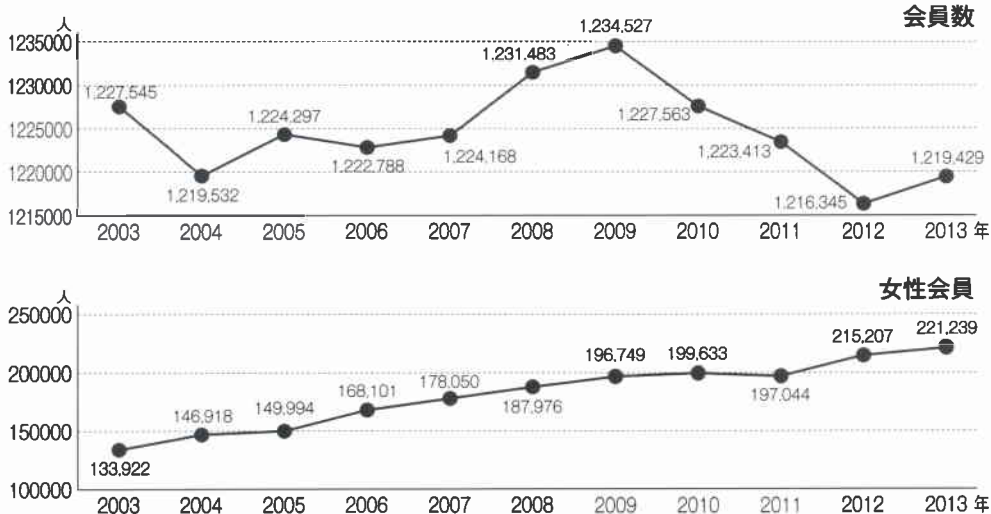
■第2660地区 [各年7月末の会員数]



■日本 [各年6月末の会員数]



■世界 [各年6月末の会員数]





# 青少年グループ

## ●ローターアクトクラブ

ローターアクト地区役員

地区代表 徳永 貴大 地区副幹事 豊永 由美 地区代表ノミネー 北島 一平  
地区幹事 中島 美緒 大阪北ゾーン代理 渡邊 真明 吹田RAC 大原 康史 上本ひとみ  
地区会計 白川 史人 大阪南ゾーン代理 清水 勇輝

## ●インターアクトクラブ(提唱クラブ)

四天王寺中学・高等学校(大阪天王寺)

顧問 岡 宏治 松本 真奈  
生徒 岡本 麻聖 熊谷 朱音 西原 茉那 森川 亜海

大阪桐蔭中学・高等学校(大東)

顧問 仲谷 浩一 浦木 道史

金光八尾中学・高等学校(八尾)

顧問 金崎 桂悟 前田 裕子  
生徒 下浦 萌香 下野陽南子 法島 優貴 萩尾 宗至 島 朋代 五島 愛永 本田創史郎  
井上 裕貴 岡本 磨実 川瀬 恵 濱澤 吉希 重富希沙来 杉田 遥奈 関 佳恵  
小滝 彩郁 清水 皓平 上野 舞香

## ●ロータリー財団学友(PSC)

山科 幸夫 中嶋 陽子

## ●青少年交換ホストファミリー(受入クラブ)

近藤 有里(寝屋川)

## ●青少年交換学生(受入クラブ)

インバウンド Celiane Bill(茨木西) Emily Cates(大阪城東) Elizabeth Walker(寝屋川)  
Kou Xeng Vang(大阪天満橋) Amadeus Mark FRAZIER(守口)

派遣候補生 徳岡虎太郎(大阪天満橋) 三木総一郎(大阪天王寺) 坂田 成実(大阪大手前)  
中尾 芽吹(交野) 出口 雄大(大阪帝塚山) 土谷 俊介(大阪御堂筋本町)  
久松秀太郎(大阪城南)

ROTEX 村井 麗 岩谷志帆子

## ●米山奨学生(受入クラブ)

陳 法 恩(交野) 王 艶 梅(大阪天王寺) 王 紹 禹(池田)  
孫 屹(大阪淀川) 姜 穎 哲(千里メイプル) イアンガー・リントン(池田くれは)  
アブデルアール・アハメド・マハムド・ムハンマド(大東中央) 金 東 右(東大阪東)  
崔 世 允(大阪南西) 朴 喜 静(大阪) 沈 孟 穎(大阪中之島)  
サバルワラ・ラワアーニヤ(千里) 閻 云(大阪南) ナースティッチ・ヴェーリコ(大阪北梅田)  
朴 喜 静(大阪) 甘 耿(大阪北) 孫 麗(大阪なにわ)  
シュレスタ・リエ(大東) NGUYEN DUY THONG(東大阪) 叶 雨 薇(高槻東)  
SABHARWAL LAVANNYA(千里) TRAN PHONG DANG(摂津) 張 承 賢(豊中南)  
ARIFF ZAINI(大阪城東) 陳 思 暢(守口イブニング) OZKAN MUGE(大阪城南)  
タイ・ジャユ・アンナ(大阪城南) 朴 海 湏(四條畷)

## ●米山奨学生学友(関西)

何 玉 翠(奈良) 東 林 華(岡山東) マノハル・ラル・シュレスタ(大淀)  
張 朔 源(豊中千里) 常 煒(秋田南) 李 君(山形天童東)  
トラン・ティ・トゥ・ハー(大阪東) 朴 善 玉(大阪イブニング) 劉 春 倩(岡山城)  
單 雅 婷(四條畷) 文 小 鵬(大阪ネクスト)

## ●チームライラ

田 原 至 高橋 洋子

## ●GSEアルムニ会

生田 英輔

●R I 意義ある業績賞

大阪西

●R I 会長賞

[クラブ] 3組：寝屋川

5組：大阪ユニバーサルシティ

6組：大阪天満橋、大阪東、大阪

7組：大阪南、大阪なにわ、大阪御堂筋本町、大阪フレンド

[ローターアクト・クラブ]

吹田RAC、大阪淀川RAC、大阪西南RAC、大阪梅田RAC、茨木RAC、枚方RAC

[インターアクト・クラブ]

金光八尾中学・高等学校IAC

●R I 会員増強推進計画の表彰

新会員勧誘活動：大阪ユニバーサルシティ

最高の会員維持率：大阪フレンド

●ロータリー財団功労表彰

宮里 唯子(茨木西)

●アーチ・クランフ・ソサエティ会員管理委員長サークル(250,000ドル以上の大口寄付)

堀田 修平(枚方)

●ロータリー財団地区特別奉仕賞(10,000ドル以上の大口寄付)

寺田 秀興(東大阪東)

辻本 憲三(大阪)

古谷 裕子(大阪中央)

山田 英男(大阪城北)

前田 葉子(大阪リバーサイド)

丸山 俊郎(高槻)

福家 宏(八尾中央)

●ロータリー財団地区奉仕賞(年次寄付累計6000ドル以上のMPHF)

能口 武雄(大阪天王寺)

上野 昌也(大阪)

早川清一郎(大阪柏原)

正田 常雄(八尾)

福本 桂三(大阪うつぼ)

荒井敬一郎(大阪北)

黒川 彰夫(千里メイプル)

柳原 健治(千里メイプル)

藤田 芳浩(千里メイプル)

山内 久生(摂津)

北村 恭一(豊中南)

西川 亨(大阪堂島)

仲庭 裕明(大阪堂島)

鈴木 洋(八尾東)

松本 智幸(八尾東)

光信 昌明(大阪城南)

須崎 洋一(東大阪東)

島 顕侑(東大阪東)

●ロータリー財団寄付優秀クラブ(会員1人あたりの年間寄付上位3クラブ)

第1位 枚方 2,101.18ドル

第2位 八尾中央 1,031.62ドル

第3位 大阪中央 529.70ドル

●100パーセント「財団の友」会員のクラブ

茨木

茨木西

門真

くずは

大阪そねざき

大阪天王寺

大阪梅田

大阪ユニバーサルシティ

大阪大淀

大阪リバーサイド

大阪天満橋

大阪淀川

八尾東

●「毎年あなたも100ドルを」クラブ

茨木

茨木西

門真

くずは

大阪そねざき

大阪天王寺

大阪梅田

大阪ユニバーサルシティ

大阪東

大阪大淀

大阪リバーサイド

大阪天満橋

大阪淀川

八尾東

●米山奨学金達成クラブ(2012-13年度)

大阪(1億5,000万円)

大阪北(1億1,000万円)

大阪南(1億1,000万円)

大阪天王寺(7,000万円)

枚方(4,000万円)

大阪鶴見(3,000万円)

大阪咲洲(1,000万円)

●米山奨学金寄附優秀クラブ(2012-13年度)

個人平均寄付額 上位5クラブ

第1位 枚方 78,914円

第2位 千里メイプル 37,272円

第3位 大阪中央 35,035円

第4位 大阪大淀 32,211円

第5位 池田くれは 31,589円

●米山功労クラブ(2012年9月1日~2013年11月30日)

大阪西北	大阪大淀	大阪大手前	大阪心斎橋	大阪リバーサイド	大阪中央
大阪東	大阪城南	大阪城東	大阪柏原	池田くれは	箕面千里中央
大阪	大東	東大阪	東大阪東	東大阪中央	枚方
守口イブニング	大阪御堂筋本町	茨木西	香里園	大阪咲洲	千里メイプル
大阪船場	大阪天王寺	吹田江坂	八尾	八尾中央	大阪東南
豊中千里	大阪淀川	吹田	千里	吹田西	交野
高槻東	大阪西	大阪南	大阪西南	大阪帝塚山	大阪鶴見
大阪天満橋	大阪梅田	大阪うつほ	大阪なにわ	大阪難波	大阪北

●米山功労法人一覧(2012-13年度)

(株)アイドマ 岩本潤三(大阪大淀) 広栄(株)(東大阪東)

●米山功労者一覧(2012年9月1日~2013年11月30日) (※はマルチプル、◎はメジャー・ドナー)

大東	※高島 登	※角井 吉彦	※上田 陽造	※森山 信一	※清水 修
	※堀部 邦夫				
大東中央	※伊泊 規子	奥田周一郎	※岡市 勝男	古川 真照	荒金 正之
	※糸川千恵子	※若狭 一夫	※西垣 文雄	※長崎 弘芳	※田中 正美
	※峠 松次	北田 宗男			
東大阪	※安田 嘉雄	※加茂 次也	河畑 誠治	丸山 隆司	※向井 伸太
	※高林 茂	※国宗 範彰	※山下 勝弘	※山本 哲三	※森田 康夫
	※石橋 英司	川端 啓一	※樽本 文男	※地引 啓	池田 裕之
	※竹中 照次	中原由輝広	※辻本 一義	※片岡 大	木村 政信
	※立岡 寛次	※濱谷 和也			
東大阪中央	岡本 慎一	※宮崎 康治	※郷田 清義	佐井 義昌	小川 高弘
	※松岡 武	※瀧田 浩彦	※渡辺 斌	※木村 正一	※林 孝信
東大阪東	梶田 梓聞	吉川 宏	駒林 廉弘	※広田 甫	※小林 一成
	※水谷 弘道	※大橋 秀典	※島 頭侑	※表 康之	
東大阪みどり	※井上 善博	※北井 孝彦			
東大阪西	弓手 宏亮	※氏野 隆司	秀浦 宣夫	※石崎 義公	※川上 卓男
	※藤原 史嗣	柳山 稔			
枚方	※西本 和彦	※仲 光男	◎堀田 修平	※田邊 誠	※澤村 繁
茨木	朱 明義				
茨木東	中尾 巖	※北尾 哲			
茨木西	※橋本 善治	※山本 高司	※秋田 典俊	谷本 勲一	櫻井 京子
池田	森 純也	田嶋也寸志	服部 盛隆	◎木平 昌男	
池田くれは	奥村 宗彦	加藤 光祥	岸添 広一	※山内 邦夫	※新田 耕平
	※森 茂寛	※正岡 哲	※池田 吉清	※中堂 武賢	田上 綱彦
	※田中 隆弥	服部 潤承			
交野	※小葉 裕成	西田 孝司	※猪奥 年紀	※張 虞安	
香里園	※西邨 智雄				
箕面	※芝野弘三郎	※庄司修三郎	※庄司 修二	◎瀧瀬 尚峻	
箕面千里中央	※浦川 光雄	◎※原 暎	※上野 弘之	※西村 是滋	※川村 智一
	※前川 茂	※湯川 泰孝	※藏田 禎夫		
守口	菊田 芳				
守口イブニング	※永井健太郎	中道 孝治	※中道 茂	※福田 治夫	
寝屋川	山本 宏樹	※水崎 勝			
大阪	※衣笠 哲雄	※稲畑勝太郎	◎羽間 平安	※羽鳥 敬彦	※塩野 秀作
	※嘉納 秀一	海老原善隆	関島 力	※岸本 忠三	※吉川 秀隆
	吉本 晴之	※近藤 雅彦	※江崎 勝久	香西喜八郎	佐川 泰宏
	※笹倉 敏彦	※薩摩 和男	三柴 利雄	※山岡 靖幸	※山本 良一
	※四方 修	※小泉 隆司	庄野 晋吉	※森下 孝	※石原 福造
	川勝 泰司	※扇谷 迪宏	※早川 徹	大井 篤	※大坪 清
	※谷川 正	田尻 邦夫	※田淵 暉久	渡辺 岳夫	尾崎 裕
	◎木村 直樹	※立野 純三	※領木新一郎	亘 信二	※眞鍋 禮三
大阪中央	◎※辻 幸雄	※森脇 寛	※石黒 重三	※川崎 壽	※村上憲一郎
	大谷久仁雄	※田中 久雄	渡邊 直美	※北尾 郁二	



大阪堂島	※城ヶ辻 保	※川本 幹治	※前川 久壽	◎竹田 秀道	中村 正敏
	※道上恵三郎	※播磨 章一	※堀内 敏道		
大阪フレンド	吉内 忠春	※栗原 大	※高田 利美		
大阪東	※塩谷 眞治	沖中 隆志	※岩橋 貞雄	※岩部 博	※橋山 宗弘
	※溝手 敦信	山本 博通	※山本 武男	※山縣 平蔵	◎若林 紀男
	春次智三郎	小切間俊司	※新井 信彦	◎村田 吉弘	※太田 重彦
	※大橋 孝夫	※大森 富夫	※中島 博司	中平 公士	※藤村 達夫
	※藤野 洋一	南 克宏	※片山 勉	◎北川 勝治	◎堀 隆
	※野村 良男				
大阪東淀ちややまち	◎横田喜久雄				
大阪平野	※岡部 卓雄	※地久里昌廣	◎島田喜代司		
大阪イブニング	藤江 正謹				
大阪城南	永井 正美	境 高彦	光信 昌明	◎佐伯 爲次	※山口 寛
	◎西谷 雅之	村上 泰啓	◎渡邊 邦雄		
大阪城東	※金沢 英富	作本 貞子	大道 力也	※中山 浩志	※柳瀬 寛之
	※高橋 俊光				
大阪柏原	※古賀 省三	三田 昌孝	※小原 進	※西尾 寛一	※早川清一郎
大阪北	※吉川 健之	※宇賀 良太	※益田 哲生	※岡田 徹	※梶原 常義
	※岩堀 雅彦	吉田 昌功	※魚本慶一郎	※桐山 輝彦	※栗本 友和
	※古野 清賢	※戸奈 常光	※江崎 正道	※高林 伸行	※薩摩 卯一
	三木 秀治	※山下 嘉治	※山下 和彦	山内 芳樹	※山本 潤
	柴田 高	※緒方 満	小谷 泰造	小谷 茂雄	小林隆太郎
	松崎 繼昭	松本 浩一	※松本 進也	※真野清以志	※西村 淳
	※石田 豊司	※仙田 恒夫	※浅井 隆	※前田 順一	※大堅 敢
	大槻 文蔵	大野 康裕	※池田喜八郎	竹田 和哉	田中 実
	土肥 雄治	※島田誠次郎	馬場 俊和	白石 元宏	※浜田 晋
	富田 英孝	米田 芳弘	木下 光	野村 公平	柳原 賢治
	澤井 治郎				
大阪北梅田	※井上 泰旭	※稻葉 正	※青山 快玄	※中神 秀明	榮野 隆
大阪御堂筋本町	※安藤 康雄	※安部 潤一	※岡田 俊作	※久我 四郎	※宮岸 隆
	※近藤 貞彦	※古澤 照男	※荒川 雅行	※山田 耕司	※重田 秀義
	※川崎 二郎	※谷本 隆広	※北島 茂治	※木戸 敏	※矢野 清治
	齋坂紀八郎				
大阪南	※井上 通敏	※永江 溥	※奥村 安正	※横山順治郎	※掛川 雅仁
	※岸田 功	※吉川 晃司	※玉村 光	鮫島 武信	※山本 博史
	※小八木規之	小林 豊光	庄司 茂	※上村 豊	城戸 高史
	新居誠一郎	※早石 誠	※多田 準二	※大楠 善彦	※谷 明
	田中 宏毅	入江 義雄	八ツ橋 直	※樋口 學	※平岡 英信
	※米倉 彦之	※米田 幹郎	片岡 利雄	※木村 芳樹	※高木 慶一
大阪中之島	※下岡陽一郎	※山本 肇	※小林 俊明		
大阪難波	井上 満昭	久保 幸一	慶元 眞二	菰田 吉見	滋野 雅之
	松浦 孝尚	※神田 眞晃	西原 芳博	石川 益三	川口 栄計
	田中 成和	※白野 陽一			
大阪なにわ	※新子 茂生				
大阪西	羽山 謙造	※鴨谷 清三	※市川 雅邦	※清水 美溥	※大塚 道夫
	※中村 壽孝	田中 義久	※高士 雅次		
大阪大淀	※岩本 潤三	西尾誠一郎	※島 伸彦		
大阪リバーサイド	※井上 隆晴	柿本 登	※神崎 友次	※石田由美子	※前田 葉子
	藤本 佳之	※徳山 善雄	木村 新一	※高田 知彦	
大阪咲洲	※荒石義一郎	※上田 彰	長元 良二	※長崎 三男	
大阪西北	※阿江 秀典	※岩城 本臣	※近藤 治郎	※高士 誠司	※勝亦 良彰
	◎藤井 進次	※平林 武昭			
大阪西南	※沖中 栄子	※河村美恵子	※亀井 築美	※高澤 俊也	※志方 邦弘
	秋目 哲郎	※神島喜與一	吹田 康雄	※石田 秀	※丹羽 健二
	※梅本 禎親	※濱岡 正典			
大阪船場	※今泉 忠亮	※大磯 隆一	※樋口 一夫	※北野 克己	
大阪心斎橋	※芦邊 康徳	※永通 明温	※境 紀世治	※原田 繁	※佐伯 良一

	※山田 精三	※西村 拓夫	石原 純一	※竹田 正司	※田中 等
	※藤澤 肇	※鈴木 公平			
大阪城北	※角本 浩一	※高瀬久美子	寺崎 正也	◎上堀 博三	※中山 卓三
大阪天満橋	※安田 義治	※高良 尚志	※山田 雅浩	※小寺 一矢	※森本 章裕
	※中村 健輔	※土井 憲一	※二宮 秀造	※保倉 賢造	※北村 修久
	末澤 正大	目幸 文範			
大阪天王寺	※家田 成夫	※吉岡 宏之	※吉田 章男	※古池 幹郎	※若宮 邦弘
	※松井 隆雄	※新屋 正富	※新見 葵	※杉本 源衛	※西埜 毅
	※津留 正孝	※南園良三郎	※伯耆 徳武	※平尾 一平	※林 幸二
	※高見篤志郎	※高森 隆			
大阪帝塚山	※横川美智子	高井 道弘	若林 嘉寛	※小室 甲	※松村 武
	◎新井 文三	清水 常雄	※西尾 良一	※石田清和喜	※川上 富清
	浅野 敏行	※早原 瑛	辻本 友明	※渡部富士雄	※板垣 美一
	富家 文雄	澤田 正實			
大阪東南	※岡本 健治	高崎 充弘	長江 稔	※内藤 雅敏	薄井 修司
大阪鶴見	※阿部成之助	※石川 治均	※田中 信明	◎癸 剛士	※浮舟 邦彦
大阪梅田	※神實 敏夫	※相原 克偉	※池田 佳弘	※中西 藤和	
大阪梅田東	※市川 寛城				
大阪うつほ	※市村 孔	※植田 庸子	※生沼 寿彦	※前田 健司	※村上 正人
	大竹 光明	※土井 靖士	※湯尾 恵子		
大阪淀川	井本 敏弘	小田 晃三	※平田 達男		
大阪ユニバーサルシティ	※河田 英子	大屋 準一			
千里	※金子 薫	古城 紀雄	※御前 治	※坂口 健	※矢橋 弘嗣
千里メイプル	※古山 柄博	※小山 富夫	※村田 純子	※藤田 芳浩	
摂津	◎山内 久生	※神田 保廣	※西島 英信		
四條畷	※中川 法政				
新大阪	※村木 茂				
吹田	※羽間 勝昌	※河内 幸枝	※吉田 充	※吉野 繁夫	橋本 治
	荒起 一夫	※高津 昇	※松永 茂	※上本 博	※大枝 朗
	※中井 健	※北野 龍二	※本田 壽子	※柳川 義行	
吹田江坂	橋本 豊	※金馬 隆仁	※今村 啓志	※庄瀬 寛	※渡辺 忠雄
	※東 秀夫	※堀田 稔			
吹田西	伊藤 泰充	橋本 芳信	※坂口 道倫	紙谷 幸弘	※新井 清
	清水 大吾				
高槻	仲田 裕行				
高槻東	※近森 信人	坂井 利孝	上場 俊哉	※川村 俊	板垣 善雄
	※齊藤 昇男				
高槻西	永井 和夫	※高橋 徳	長積 優	土井 晶三	
豊中	※松山 辰男	※村司 辰朗	※田中 正一	都井 正剛	武枝 敏之
	※米田 真	※豊島 了雄			
豊中南	※山中 久男	※山本 榮	※森田 治男	※水野 茂	※天羽 康雄
	※國貞 眞司				
豊中一大阪国際空港	※渡邊 克一	※齊城 正之			
豊中千里	※奥村 量之	森田 正治	※樽井 郁夫	地寄 剛史	長澤 格
	澤村 榮一				
八尾	※笠井 実	※吉本 憲司	宮川 清	※居相 英機	※橋本 雄司
	※原田 正義	※高井 栄彌	※今西 敦之	◎佐野 清	◎山本 義治
	※山本 昌市	※寺坂 哲之	※小山 悦治	※小林 成禎	※松井 良介
	※新宮 一誓	※水野 雅由	※正田 常雄	※川田 隆	※池尻 誠
	※中川 將	※中島 孝夫	※長竹 浩	※田中 康正	
八尾中央	松下 和彦	※泉 寛治	※中井 敬和	※藤木 良顕	※片岡 基博
八尾東	※鈴木 洋				

●ロータリー財団表彰者一覧(2012年9月1日~2013年11月30日)

(※はマルチプル・ホール・ハリス・フェロー、◎はベネファクター、MDはメジャードナー)

大東	杉原 巨峰	中野 秀一	佐藤多加志	木村 克己	東村 正剛
	※松原 清一	※福富 經昌	※中 恒夫	※中原 毅	※小川 芳男
大東中央	※森山 信一	※池田 實	※大東 弘	◎藤本 和俊	◎上田 正義
東大阪	※田中 正美	※峠 松次	※岩本 静江	※大東 禮子	※田中 正美
	嶋田 薫	中山 学	※辻本 一義	※義之 清規	※清水 浩一
東大阪中央	※井戸本忠彦	※森田 康夫	◎片岡 大	◎国宗 範彰	
東大阪東	※細川 勝治	※郷田 清義	※坪倉 修吉	※宮田 照男	◎岩崎 史郎
	宮澤 三雄	※芳田 至弘	※城戸 義雄	※金子 泰輔	※表 康之
	※天野 正亮	※須崎 洋一	※北川 忠嗣	※島 頌侑	◎広田 甫
	※溝畑 正信	※大橋 秀典	※辻 正	※金子 泰輔	◎水上 雅博
東大阪みどり	後藤 正憲	※山片 重房	※野村 悦子	※清水 宏彦	※辻 茂
	※小寺 史郎				
東大阪西	柳山 稔	※石津 良行	秀浦 宣夫	※川上 卓男	※嶋田 亘
枚方	吉原 博	仲 光男	◎家高 健志	※新庄 幸一	※大東 将啓
茨木	土手 基史	吉田 政雄	※長澤 利治	※坂井 正純	※朱 明義
茨木東	※樋田 之宏	※瀧川 理也			
茨木西	※西田 滋	※宮里 唯子	◎橋本 善治	桜井 京子	谷本 勲一
	※別處 了一	※西尾 忠夫	※大森 保子	※須川 就三	※田中 猛夫
池田くれは	林 克彦	藤原 史郎	藤原 進	内村 昭	岡本 厚
	岸添 広一	松室 利幸	田上 綱彦	池田 吉清	※谷口 浩
	※霧山 勝弘	※新田 耕平	※津田 昌信	※溝口 正孝	※森 茂寛
	※中堂 武賢	※三好 洋二	※正岡 哲	※田中 隆弥	
門真	池田 治子	大崎 博基	堀口 信彦	※田中 泉	中山 涉
	※高橋 英雄	※三林 信彦	※滝川 博嗣	※田中 義昭	◎西川 亮彦
交野	※猪奥 年紀	※奥 嘉隆			
香里園	※西邨 智雄				
くずは	原 正和	粟津 直晶	※中村 雄策	※今中 七郎	※平尾 公介
	※林 祐弘	※駕田 毅	※川島 吉博	西田 英夫	※藤原 和彦
	※國田 欣吾	※岩本 昌治	※山口 尚志		
箕面	前田 建司				
箕面千里中央	※山口 誠治	※原 暎	※上野 弘之	※増田 俊	※西村 是滋
	※東 吉川 巧一	※湯川 泰孝			
守口	金丸 大介	三浦 均	◎※菊田 芳	◎篠崎 満伸	
守口イブニング	川下 英紀	◎※福田 治夫	◎小林 澄子	丸山 和豊	
寝屋川	宮原 秀夫	下條 久雄	◎龜井 信昭	奥本 義昭	◎飯島 照輝
大阪	山本 章弘	薩摩 和男	出口 湛龍	佐伯 照道	◎本田 孔士
	高杉 英一	榊 彰一	海老原善隆	田尻 邦夫	三柴 利雄
	※大林 剛郎	※佐藤 文三	※大坪 清	※土田 修	※山本 良一
	※上野 昌也	※井村 達男	※羽鳥 敬彦	※水野 明人	※上山 英介
	※壁 憲一	※樋口 信治	※岸本 忠三	※谷川 正	※島田 清隆
	※服部 一史	※江崎 勝久	小泉 隆司	近藤 章	※岩本 純治
	※近藤 雅彦	※薦田 守弘	※吉川 秀隆	※松澤 佑次	※石原 福造
大阪中央	渡邊 直美	※扇谷 迪宏	※竹中 統一		
	※石黒 重三	後藤 哲男	小谷 和靖	※北尾 郁二	※永井 路子
	◎辻川 功一	※上田 祐嗣	※横山 守雄	※仲井 徹	◎古谷 裕子
大阪堂島	※西川 亨	※仲庭 裕明	※佐藤 太郎		
大阪フレンド	栗原 大	※三上美智子	◎高田 利美		
大阪東	※溝手 敦信	※領木 誠一	※太田 重彦	※吉村 孝文	※小中 義博
	※辰野 久夫	◎領木 誠一	橋山 宗弘	山本 博通	壺山 和憲
	小高 得央	本田 良介	沖中 隆志	上原 武彦	小野 徹弥
	竹内 定夫	松本 裕典	※田中 弘文	※北川 勝治	※藤井 邦夫
	※中村 健	※戸島 利夫	※片山 勉	※佐藤 勉	◎塩谷 眞治
大阪平野	※吉原 保之	※大森 利治			

大阪イブニング	末吉勸四郎	※宇野 能史	※内藤 喬皓	※山下 健三	※光信 昌明
大阪城南	井上 裕貴	⑥※三木 敏裕			
	※畑田 豊				
大阪城東	高橋 俊光	⑥大道 一弘	※岡本 浩	※黒松 克行	※角野 隆史
	※佐々木多喜子	⑥福山 信也	⑥薦田 光		
大阪柏原	藤江 博	笠井 和憲	三田 昌孝	※榊原 春枝	※早川清一郎
	※古賀 省三	※石崎 昭	⑥笠井 靖彦		
大阪北	大槻 文藏	岩本 宏美	澤井 治郎	竹田 和哉	楠 賢一郎
	柳原 賢治	松本 浩一	田中 実	小林隆太郎	小谷 茂雄
	柴田 高	米田 芳弘	山内 芳樹	土肥 雄治	※長部文治郎
	※田淵 宏政	※林 博司	※西村 淳	※前田 順一	※荒井敬一郎
	※山本 雅昭	※古市 實	※島田誠次郎	※高月 璋介	※浜田 晋
	※浅井 隆	※吉川 健之	※森 輝彦	※三浦 康生	※山下 嘉治
	⑥緒方 満				
大阪北梅田	※寺岡 龍彦	※和氣 主	※中神 秀明	※長谷川誠太郎	※山田 崇雄
	※井上 孝	※出口 敏朗	※秀平 吉朗	⑥高石 英二	※稲葉 正
大阪御堂筋本町	鍵田 秀明	武島 秀吉	⑥田村謙之助	※大西 博孝	※高橋 勝彦
	※中川 憲育	⑥岡田 俊作	矢野 清治	松本 憲旺	※富田 進
	※古澤 照男				
大阪南	小林 二郎	福本 桂太	松尾 浩一	藤井 眞澄	青山総一郎
	荒木 貴史	入江 義雄	高津 吉男	※岩田 宙造	※玉村 光
	※岸田 功	※小八木規之	※山口多賀司	※山田 和義	※木村 芳樹
	⑥小谷 公穂	庄司 茂	八ツ橋 直	米谷 龍二	新居誠一郎
	城戸 高史	鮫島 武信	片岡 利雄	※平岡 英信	※清水 裕
	※早石 誠	※北嶋 勇志	※小山 博記	※松本 晴次	※吉川 浩司
	※長谷川 孝	※錦織 達郎			
大阪中之島	木村 眞敏	杉村 雅之			
大阪難波	藤原 輝之	立花 英司	小田 浩司	丹下 慎司	中川 静夫
	⑥夏 明義				
大阪なにわ	平松 悦子	※新子 茂生	※倉橋 忠男	濱浦紀代輝	井戸 正
	岸上 好廣				
大阪西	井上 佳昭	※相崎 秀樹	※北村 寅雄	※秋山 圭市	⑥大塚 道夫
大阪大手前	※松浦 貞男	北村 光司	※金高 好伸	※曾我部律夫	⑥大蔭 政勝
大阪大淀	※東野 晃三	※岡本 政和	※井原 悦司	※村岡 正啓	※尾崎 雅俊
	※畑 守人	※武富 貞敏	※橋本 佳明		
大阪リバーサイド	※石田由美子	浦井 裕樹	※橋本 佳明	横田 泰介	※柿本 円
	※柿本 登	※苅田 修	※俣野 千秋	MD 前田 葉子	⑥徳山 善雄
	沖米田浩朗	横尾 博子	※垣内 康弘	※井上 隆晴	※藤井 武治
大阪咲洲	長元 良二	※上田 彰	⑥荒石義一郎		
大阪西北	※近藤 治郎	※隅防 嘉之	※勝亦 良彰	※森 恕	小嶋 敦
	小山 登				
大阪西南	葉田いつの	※大谷 透	※藤本 和茂	※高谷 晋介	※高澤 俊也
	※露口 佳彦				
大阪船場	堀 浩司	中川 和之	沖 真一郎	※平山 明彦	※カンタトーレ ドメニコ
	※西村 文延	※俣野富美雄	※斧原 秀夫	※松谷 廣信	※北野 克己
	※齋藤 憲司	※武田 實	※齋藤 満	※澤田 宗久	※甚田 隆康
	※井澤 武尚	松永 修	※小島 常男	※杉浦 敬久	
大阪心斎橋	石原 純一	※永通 明温	※竹田 正司	※原田 繁	※芦邊 康徳
	⑥境 紀世治	⑥佐伯 良一			
大阪城北	⑥山田 英男				
大阪そねざき	野瀬 博	※宮崎 史子	※岡本 孝子		
大阪天満橋	※山田 雅浩	※福原 哲晃	※安田 義治	⑥川原 和彦	
大阪天王寺	萩谷 雅一	※米川 和作	※金本恒二郎	※高橋 博文	※服部 四郎
大阪帝塚山	大水 勇	井川 重典	矢木 崇善	西辻 毅	※池田 淳八
	※竹川 修司	※亀井 龍彦	※山下 義一	⑥泉 博朗	
大阪東南	吉森 正浩	和田 光博	赤松 昭次	草野 孝文	木田 吉男
	※中川 浩孝	※中造 和夫	※奥田 実	※森脇 隆	※前田 敏弘



	※橋本 友三	※杉浦 勝昭	◎前田 義雄	長江 稔	高崎 充弘
	薄井 修司	※宇佐美貴史	※下宮 義弘		
大阪鶴見	小西 邦司	山崎 修一	※宇野 滋	※秀島 博規	※井上 修一
	◎菊井 康夫				
大阪梅田	陽田 幸作	森 治	小林 博隆	※秋元 延介	※土田 喜和
	※梶谷 健二	※芳賀 修			
大阪梅田東	※山村 幸久				
大阪アーバン	※西口 宗宏	※吉馴 茂子			
大阪うつぼ	※池田 周弘	※浅野 博史	※福本 桂三		
大阪淀川	山本 照彦	松本 弥恵	松井 義明	川合 雄治	※白方 誠彌
	※福井 宏有	※西崎 克由	※杉本 三郎	※杉本 忠博	※青木 高
	※平田 達男	※大藪 芳教	※高地 健		
大阪ユニバーサルシティ	大屋 準一	※河田 英子	◎久保田秀一		
千里	金子 薫	笠原隆之助	MD井上 暎夫	※萬年 成泰	※坂口 健
	◎※上橋 芳雄				
千里メイプル	※黒川 彰夫	※柳原 健治	※村田 純子	※藤田 芳浩	※水島 洋
	※山田 克子	※岸上 億則	※相原 正雄	※高尾 修	※山下聰一郎
摂津	秋山 肇	※山内 久生	※岩城 邦廣	※西本 勝	※横田 聡
四條畷	※貝阿弥一郎	◎谷村 勝美			
新大阪	安井 一男	遠藤 義彦	※山本 恵真	※松川 雅典	
吹田	谷 安都子	大前 清彦	前田 芳聰	※大枝 朗	※上本 博
	※豊谷久仁子	※平山 直樹	※立木 靖子	※河内 幸枝	◎石井 博章
	※本田 壽子				
吹田江坂	橋本 豊	※飛田 昭男	◎※寺井 正昭	※木元 良三	※赤尾 進
	※八橋 志夫				
吹田西	本田 智教	阿部 吉秀	※坂口 道倫	※瀧川 紀征	※小林 哲
	※梶山 高志	※大藤 辰弘	◎石崎 克弘	橋本 芳信	※家村 武志
高槻	伊藤 智秋	※浜田 厚男	※清水 利男	※岩井 祐造	◎児島 信
	入谷 治夫	朝倉 通憲	※片山美智子	◎川面 智義	
高槻東	板垣 善雄	中川 雄六	※根岸 宏邦	◎石井 清隆	
高槻西	※土井 晶三				
豊中	※豊島 了雄	※村司 辰朗	※木村 正治	※澤木 政光	◎関谷 洋子
	◎田中 正一				
豊中南	※山本 和市	※北村 恭一	※西口 定雄	※水野 茂	※天羽 康雄
豊中一大阪国際空港	※渡邊 克一				
豊中千里	藤谷 和憲	※樽井 郁夫	※五條 房己	※熊澤 一郎	※森田 正治
八尾	稻田 賢二	山田 博義	※小山 悦治	※中川 廣次	※松本新太郎
	※川田 隆	※正田 常雄	※原田 正義	※村本 順三	※小林 成禎
	※中島 孝夫	◎今西 敦之	宮川 清	水野 雅由	※澁谷登志和
	長竹 浩	※三宅 博	※吉本 憲司	※佐野 清	※井川 孝三
八尾中央	◎松下 和彦	藤木 良顕	※柳 雄二	※泉 寛治	※玉井 利宏
八尾東	大松 桂右	※鈴木 洋	※山田 哲男	※森田 時男	※松本 智幸
	◎石川 義一				

## 出席クラブ

- 池田
- 池田くれは
- 箕面
- 箕面千里中央
- 豊中
- 豊中南
- 豊中一大阪国際空港
- 豊中千里
- 茨木
- 茨木東
- 茨木西
- 千里
- 千里メイプル
- 摂津
- 吹田
- 吹田江坂
- 吹田西
- 高槻
- 高槻東
- 高槻西
- 大東
- 大東中央
- 枚方
- 門真
- 交野
- 香里園
- くずは
- 守口
- 守口イブニング
- 寝屋川
- 四條畷
- 東大阪
- 東大阪中央
- 東大阪東
- 東大阪みどり
- 東大阪西
- 大阪柏原
- 大阪ネクスト
- 八尾
- 八尾東
- 大阪中央
- 大阪堂島
- 大阪北
- 大阪北梅田
- 大阪西
- 大阪大淀
- 大阪リバーサイド
- 大阪西北
- 大阪そねざき
- 大阪梅田
- 大阪梅田東
- 大阪ユニバーサルシティ
- 大阪
- 大阪東
- 大阪東淀ちゃやまち
- 大阪城東
- 大阪中之島
- 大阪大手前
- 大阪城北
- 大阪天満橋
- 大阪鶴見
- 大阪淀川
- 新大阪
- 大阪フレンド
- 大阪御堂筋本町
- 大阪南
- 大阪難波
- 大阪なにわ
- 大阪南西
- 大阪西南
- 大阪船場
- 大阪心斎橋
- 大阪うつぼ
- 大阪平野
- 大阪イブニング
- 大阪城南
- 大阪咲洲
- 大阪天王寺
- 大阪帝塚山
- 大阪東南
- 大阪アーバン
- 大阪みおつくし
- 八尾中央

在りし日のご活躍を偲び 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

2012年10月1日～2013年9月30日

菅澤	龍二	大 阪 西 南	2012年10月 2日	84歳
田中	秀和	大 阪 南	2012年10月 4日	64歳
森下	一雄	枚 方	2012年11月16日	62歳
植田	義明	大 阪	2012年11月16日	87歳
細川	信義	大 阪 西 北	2012年11月18日	71歳
横田	浩和	大 阪 南	2012年11月20日	78歳
西山	敏之	豊 中	2012年11月25日	91歳
石本	恵一	大 阪 南	2012年12月12日	78歳
菅本	憲市郎	新 大 阪	2012年12月30日	74歳
玉田	義宣	大 阪 西 北	2013年 1月16日	68歳
宮本	一	大 阪 西 北	2013年 1月30日	80歳
白山	鴻鍵	大 阪 淀 川	2013年 1月31日	87歳
山口	義人	大 阪 西	2013年 2月 4日	83歳
小出	寶一	大阪リバーサイド	2013年 2月21日	78歳
黒田	謙三	東大阪中央	2013年 3月 6日	89歳
上田	稚子	大阪そねざき	2013年 3月11日	73歳
黒田	一	大 阪 東	2013年 3月20日	82歳
打田	耕三	箕面千里中央	2013年 3月25日	86歳
飯原	啓吾	新 大 阪	2013年 4月 8日	84歳
小枝	繁	東 大 阪 東	2013年 5月 3日	86歳
寺崎	泰彦	大 阪 南	2013年 5月 7日	82歳
植田	泰正	大 阪 柏 原	2013年 5月13日	64歳
山本	覺	守口イブニング	2013年 5月16日	71歳
田坂	新一	大 阪 鶴 見	2013年 5月19日	72歳
山田	晴三	大 阪	2013年 6月 1日	77歳
三原	幸二	大 阪 南	2013年 6月10日	77歳
柏木	尚	豊 中	2013年 6月15日	88歳
亀岡	勉	大 阪 淀 川	2013年 7月 7日	75歳
篠原	耕一	大 阪 梅 田	2013年 7月10日	80歳
谷口	俊文	八 尾	2013年 7月20日	73歳
中塚	一郎	門 真	2013年 7月29日	83歳
山浦	荘平	大 阪 北	2013年 8月10日	82歳
草島	一	大 阪 南	2013年 8月29日	85歳
浅川	正英	大 阪 天 満 橋	2013年 9月20日	73歳



## ロータリーの奉仕とは

第3ゾーン ロータリーコーディネーター  
第2660地区 パストガバナー (千里RC)

**井上 暎夫** いのうえ てるお

生年月日 昭和12年2月3日

出身地 岐阜市

職業分類 税理士

ロータリー歴 1973年6月 吹田北(現千里)RC入会 チャーターメンバー

1993~94年 千里RC会長

1997~98年 第2660地区代表幹事

1998~99年 4地区連合地区大会財務委員長

2001~04年 RI 2004年国際大会(関西)副実行委員長・財務長

2002~03年 第2660地区ガバナー

2003~13年 RI 会長代理5回

2005~06年 RI 第3ゾーン財団年次寄付アドバイザー

2006~07年 ロータリー米山記念奨学会財務委員長、RI 規定審議会代議員

2007~08年 RI 会員組織ゾーンコーディネーター

2008~09年 RI チャレンジ100コーディネーター

2009~11年 ロータリー財団学友コーディネーター

2010~12年 第39回、第40回ロータリー研究会実行委員長

2011~14年 第3ゾーンロータリーコーディネーター

2013~14年 2015~2016RI 会長指名委員会委員

公益財団法人ロータリー日本財団監事、特定非営利活動法人国際ロータリー  
日本青少年交換委員会理事

その他 ベネファクター、メジャードナー、財団功労表彰、  
ポール・ハリス・ソサエティ、米山功労者メジャードナー

### SERVICE(奉仕)とは何か

サービスを奉仕と訳さなかった米山さん

ロータリーと奉仕の歴史

●奉仕、最初の第1歩

●親睦か奉仕か

●職業奉仕

●理論か行動か (I SERVE と WE SERVE)

●ロータリー財団の誕生

●平和と人道的奉仕

●ポール・ハリスが語るロータリーの奉仕

●二つのモットー

ロータリーの目的を改めて読んで

ロータリーを実践し、みんなの人生を豊かに

### ポール・ハリス語録 (RI CD3-925-JA 1096)

●社会に役立つ人間になる方法はいろいろあります。最も身近で、しばしば最も効果的な方法は、間違いなく自分の職業の中にあります。

●来る年月、ロータリーが文明の中枢に留まり続け、事業の品位と重要性和と云う新しい意識と人類を目覚めさせることが出来ます様に。

事業は、人類にとっても国家にとっても生活を救い、生まれ変わらせるような影響力があります。

●ロータリーの考え方によると、ビジネスは重要な部分ではありますが、人生のすべてではありません。……ロータリーの哲学は健全で、人生を豊かにすることを望んでいるのです。

●ロータリーは、すべての人の生活に影響を与える運動となるまで、自己満足をしてはいけません。ロータリーの規定は非常にシンプルで、その教義は誰にも受け入れられます。





### ①カンボジアでの奉仕活動

グラフィス診療所マネージメントチーム  
ボランティア

#### 西口 三千恵

- 大阪市立大学文学部社会学コース卒業
- 2004年 ロータリー財団国際親善奨学生(東大阪東RC)として、英国ブラッドフォード大学国際開発マネージメント修士課程終了
- 2005年 国際協力NGOスタッフとして、アフリカのサンビア、マラウィ等で、医療、農村開発に2年間従事
- 2008年 1月 カンボジアにて救急医療システム構築事業に従事、人道的見地からの治療、自然エネルギーを取り入れた建設設計等をコンセプトにグラフィス診療所建設に参加
- 2009年 8月 認定NPO法人サイド・バイ・サイド・インターナショナル(SBSI)カンボジア事務所長補佐
- 2010年 7月 グラフィス診療所マネージャー兼任
- 2013年 7月 「First Aid Cambodia」設立。一般市民へのファーストエイド講習の提供、国立病院救急隊養成。救急隊員の意識向上と、救急隊の存在を市民へ周知。
- 2013年 9月 SBSIカンボジア事務所を辞任。マネージメントチーム・ボランティアとして引続きグラフィス診療所運営に関わる。グラフィス診療所の運営団体 The Cambodian Dormitory and Education Project (CDEP) を通じ、海外からのボランティア受け入れに携わる。

グラフィス診療所は「カンボジアの医療へき地に、貧しい人でも必要な治療が受けられる診療所を作りたい」という思いから、所長のピーター・リー博士が運営する、人道的見地からの治療を最優先する診療所です。2年がかりで建設工事が完了し、2010年7月、グラフィス診療所は完成しました。しかし、私たちの手は、本当に必要としている人たちに届いているのか？このまま続けることが、本当の支援になるのか？常に自らに問いかげながらの5年間でした。このとき、第2660地区とブノンペンロータリークラブより、医療家具や太陽光発電システムのご寄贈を頂きました。

人道的見地からの治療を第一義とし、貧しくて支払い困難な場合でも適切な治療を提供し、費用は診療所のお手伝いなど、労働で返してもらうことになっています。最終的には、支払いができる患者さんからの治療収益で、貧しい患者さんの治療費をカバーできるようにすることが目標です。

2011年には再度、マッチンググラントプロジェクトとして、第2660地区とブノンペンロータリークラブより、血液検査機械と小型のエコー機のご寄贈を頂きました。これにより、診療所でできる処置の幅がぐんと上がりました。

2010年の開所以来、延べ7000人以上の患者さんを受け入れてきました。これからの目標としてリハビリに力を入れていきたいと思っています。

命が助かって、障がいが残ったことで生きる希望をなくす患者さんも多くいます。グラフィス診療所でも、過去に「こんなことなら、助けてくれなければよかったのに」と言われたこともあります。命を助けるだけでは、ダメなのです。命が助かったら、次はリハビリが重要になってきます。

2013年には、茨木西ロータリークラブとブノンペンメトロロータリークラブより、グローバル補助金プロジェクトを認定頂きました。これにより、リハビリ患者のための施設の拡張と、人材育成が実施されます。すでに、宿泊施設の拡張工事がある程度完了しました。これから、リハビリプールの建設と、人材育成トレーニングを始める予定です。リハビリ施設と人材の拡充によって、自宅での療養を余儀なくされている支払いが可能な家庭の患者さんを受け入れる狙いがあります。

今はまだ、多くの方々のご支援に頼らざるを得ない状況ですが、今後数年の間に、持続可能な運営を確立すべく、スタッフ一同努力を続けています。



## ②被災地支援活動

宮城県石巻市 保健師

### 倉内 菜穂子

- 1985年 大阪府八尾市生まれ  
2004年 東京都成蹊高校卒業  
2008年 大阪大学卒業(看護学専攻)  
2009年 ロータリー財団国際親善奨学生(豊中一大阪国際空港RC)として英国スコットランドへ。  
Queen Margaret University 修士課程終了(国際保健専攻)  
2010-12年 沖縄県立中部病院看護師として働く  
2012年-13年12月 宮城県石巻市保健師として働く

震災をきっかけに沖縄での看護師の職を辞し、津波による最大の死者数と甚大な被害を受けた宮城県石巻市へ移住。宮城県内行政で唯一東北圏外からの就職者であった。病院ではなく地域の中で保健師として働く事で全く新しい世界が見えて来た。地元の人々と一緒に現場で暮らし、肩を並べ震災後の経過を目の当たりにした。

メディアで震災の象徴として注目されるのは被災者の住む仮設住宅や津波の被害を受けた沿岸地区。しかし実際のところ震災が残したのは「喪失」だけではない。誰も触れたくない目に見えない大きな傷跡、逆に人と人の新しいつながりも生まれている。被災地石巻に移り住み保健師として働き全身で感じた悲しみ、喜び、孤独、苦悩を現場にいてこそ学んだことを皆さんに伝えたい。

2011年の震災により、人々は各々異なる震災体験をしたと思われる。どのような行動をとり、どのような考えを持ったか。現地にいる人、外の人。それぞれのストーリーがある中、現地の市職員として約二年間宮城県石巻市で働いた自分の経験を振り返る。

最大規模の被災を負った石巻は「世界の復興モデル都市」をモットーに掲げ、この震災をきっかけに更により街に生まれ変わろうという流れになっていた。国の補助で住宅だけでなく医療・福祉方面の改革も進んでいる。メディアに多く取り上げられたことにより、あらゆる形の支援が石巻に入って来る。中にいる私が感じたのは、現場はこの流れについていけないということ。現場の混乱や喧噪が落ち着いていない段階で外身だけが変わろうとしている。この規模の災害では現場の混乱はそう簡単にはおさまらないかもしれないが、本来中心となるはずの現場の人々や職員が疲弊し取り残されているように感じた。

支援について考えてみたい。支援者と支援を受ける側との間には適度な距離感が必要であり、「相手の役に立ちたい」という思いが強すぎてもよい支援につがらない。手取り足取り「やってあげる」のが支援ではなく、自立を手伝うために一歩後ろから見守るのが本来の支援ではないか。インパクトや結果を求めるあまり、活躍するのは支援を受ける側であるという当たり前のことを忘れがちになってしまう。

自分たちの一方的な想いで突き進んでいないか。支援のニーズは変化していないか。現場の声はどのようなものか。耳を傾げるだけでなく、全身で感じとっていく。これを心がけてこれからも歩んでいきたい。



観世流能楽師 重要無形文化財総合認定保持者  
公益社団法人 能楽協会理事  
公益財団法人 山本能楽堂代表理事  
大阪RC会員

### 山本 章弘

初舞台は3歳。幼少より父山本眞義に師事し、関西大学を卒業とともに、故二十五世宗家に入門。5年半の内弟子修行を経て昭和63年独立。現在は二十六世宗家観世清和に師事。「翁」「道成寺」「安宅」など大曲(たいきょく)を抜く。

観世宗家直門の気鋭の能の正統を伝えるとともに、初心者でも楽しめる体験型の公演を多数開催。能楽ファンの裾野を広げるために尽力している。また、大阪に伝わる古典のエッセンスを味わう「初心者のための上方伝統芸能ナイト」を大阪商工会議所、大阪市、(公財)大阪観光コンベンション協会と共に立ち上げ、新たな上方芸能ファンを増やし好評を博している。

また、次世代に向け、現代美術家の視点を取り入れた、今までにない体験型の「こどもが楽しい」能の教室を精力的に開催し、大人の押しつけでない、こども達の自発的な興味を引き出す新しいタイプのこども教室として好評を得、平成21年パナソニック教育財団奨励賞、平成23年「第42回博報賞」などを受賞。

海外公演にも多数参加。近年は、文化庁国際芸術交流活動支援事業により、日本への興味がありながら地理的に遠いため「本物の日本文化」に触れる機会を渴望している東欧諸国と日本との国際交流に貢献。平成25年度は日本とスロバキア共和国の外交樹立20周年を記念して、プラスチックラバ城と欧州文化首都であるコシツェで初めての能の公演を開催した。

また、平成21年「水都大阪2009」の最終日に宗教学者・山折哲雄監修による水の浄化をテーマにした新作能「水の輪」を制作・初演。以後、大阪城西の丸庭園、近江八幡八幡堀、ブルガリア共和国などで10回再演し、能を通じて環境問題の大切さを訴えている。

平成24年 第9回「関西元気文化圏賞」特別賞、平成24年 第5回「ティファニー財団伝統文化大賞」受賞、平成23年度より「小学社会 上」(文教出版)の教科書の表紙に写真提供。

平成12年 大阪文化祭奨励賞受賞

平成19年 なにわ大賞「(財)大阪21世紀協会賞」受賞

平成21年 パナソニック教育財団「心を育むフォーラム」奨励賞受賞

平成23年 第42回「博報賞」受賞

平成24年 第9回「関西元気文化圏賞」特別賞受賞、第5回「ティファニー財団伝統文化大賞」受賞

#### 【山本能楽堂】

山本家は、京都・烏丸三条で代々両替商を営み、五大両替商の一つとして板垣退助にも資金を提供していました。

山本能楽堂は、山本博之により昭和2年に建設、戦災にあい一度焼失しましたが、昭和25年に再建し、約85年の歴史を持つ、大阪で一番古い能楽堂です。市街地にある3階建ての木造建築で、伝統的な能舞台を持つ能楽堂として貴重な事から、平成18年、文化審議会により「国登録有形文化財」の登録を受けました。

大阪のオフィス街「谷町4丁目駅」下車徒歩2分の好立地にあり、「初心者も楽しい能楽堂」として、どなたにでもお楽しみ頂ける公演を多数開催しています。

現在、文化庁「重要建造物等公開活用事業」により全国で初めてのモデル事業として3年間の改修工事を行っています。改修後は「現代の社交場」として、人の行き交う「開かれた能楽堂」を目指し、多くの方に活用頂ければと思っております。



講談師

## 旭堂 南陽 きょくどう なんよう

講談の事を何も知らない司法浪人時代に「講談師も弁護士も最後に“し”がついているから一緒や」という師匠の一言で講談師になった変わり種!! 英語、スウェーデン語などを使いこなす国際派講談師。

### < 学歴 >

- 1993年～94年 スウェーデンへ交換留学 (ROTARY交換留学プログラム)  
※ストックホルムでのノーベル賞授賞式に参加  
2000年 大阪市立大学 法学部卒業

### < 芸歴 >

- 2001年11月 旭堂小南陵 (現：四代目南陵) 入門  
2004年 4月 ブラジルにて【ポルトガル語講談】  
(ROTARY GSE プログラム)  
7月 アメリカ・ボストンにて【英語講談】  
※この模様はNHK「what's on Japan」にて全世界に放映  
2006年11月 【講談×声楽】スタート  
2007年 3月 【講談×ジャズ】スタート  
2008年10月 ブルガリアにて講談 (第19回日本文化月間)  
2009年 7月 中国・上海にて【中国語講談】  
2010年 4月 宮崎県・都城市特派大使就任  
2012年 6月 【講談×シャンソン】スタート

### < ラジオ歴 >

- FM COCOLO「NETRIBE」<深夜のNETRIBE亭> (2008年～10年)  
FM OSAKA「ミナミジャズウォーク」メインパーソナリティ (2011年～12年)  
西宮さくらFM「sakuっとLa・ら・Ra」(2007年～13年)

### < 執筆歴 >

- 大阪日日新聞「旭堂南陽のブラリ講談 歴史あるき」(2012年4月～毎週土曜日連載中)





## 日本の進路と誇りある国づくり

ジャーナリスト  
公益財団法人国家基本問題研究所 理事長

櫻井 よしこ さくらい よしこ

- ベトナム生まれ
- 新潟県立長岡高等学校卒業
- ハワイ大学歴史学部卒業

経 歴 1971～74年 クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局勤務  
1975～77年 アジア新聞財団 DEPTH (デプス) NEWS 記者  
1978～82年 アジア新聞財団 DEPTH (デプス) NEWS 東京支局長  
1980～96年 NTVニュースキャスター  
1978年～ ジャーナリスト  
2008年～ 公益財団法人国家基本問題研究所 理事長

受賞歴 1994年度 S J賞 (女性放送者懇談会賞) 受賞  
1995年 第26回 大宅壮一ノンフィクション賞 受賞  
1998年 第46回 菊池寛賞 受賞  
2010年 第26回 正論大賞 受賞

### 櫻井よしこ氏 特別講演 「日本の針路と誇りある国づくり」

本日はわが国のみならずアジア全体に今、どんな変化が現れているのか、またその中で日本はどのような行動すればよいのか、考えてまいりたいと思います。

4月になると、アメリカのオバマ大統領が日本に来られます。韓国、フィリピンも訪問される予定です。しかしオバマ大統領は、昨年インドネシアのバリ島で開かれたTPPの会議を欠席しました。これによりアメリカはもはや、アジアを重視していないのでは、との疑念が出ています。

フィリピンは南シナ海の領土問題で中国と対立していますが、中国の主張に対してはベトナムなどの周辺各国も含めて承服できるはずはありません。フィリピンのアキノ大統領は「世界はいつになれば中国に対し“もう十分だ”と言うのか」と悲痛な叫び声を上げています。

オバマ大統領の「アジア重視」という言葉と実際の行動には、大きな乖離があります。オバマ政権は第1期で積極的にアジア諸国にコミットしました。中東からアジアに軸足を移す政策でしたが、この方向性を推進したヒラリー・クリントン氏たちは、第2期政権にはもういません。重要閣僚を交代する意図は、組織の頂点に立つ皆様はよくおわかりのことと思います。

オバマ大統領の考え方は、第1期と第2期で全然違います。シリアでは化学兵器が使用され、国軍が国民の命を奪いました。「国民のための政権を樹立するために支援しなければ。そのためにはアメリカに介入してほしい」というのが世界の見方でしたが、しかしアメリカは介入しないことを決めました。

オバマ大統領はスピーチで、国民にその理由を説明しました。これはアメリカ一国の問題ではない、と言いました。「アメリカは世界の警察官ではない」と言われたのには驚きました。戦後、東西冷戦を経てソ連の崩壊後は唯一の超大国として君臨してきたアメリカが「世界のことはもう十分だ、これからは国内政治をしたい」と言い出したのです。

これまでは国民の税金を使ってヨーロッパやアジアを守ってきましたが、足元では国民の多くが無保険の状態でした。これではおかしいではないか、ということでオバマケアと呼ばれる福祉や保険を推進する政策を打ち出しました。これはアメリカ国民の支持を受けました。国内政治を優先したオバマ大統領は、TPP交渉の席にも来なかったのです。

シリアに介入しないと決めたことで、中東では変化が出始めています。まず、サウジアラビアがアメリカに不信感を抱き始めました。ヨーロッパの国々を前に、アメリカに対する政策を大幅に変えようと明言したのです。混乱にあるエジプトも怒っています。アメリカはほとんど何も支援せず傍観していたとして、過去ずっといい関係にあったエジプトが、ロシアと接近し始めたのです。安全保障と外交のトップが会談し、これまでアメリカから買っていた武器をロシアから買うことを決めました。もう一つはイスラエルです。対立するイランの核兵器開発を巡るアメリカの態度を見て、イスラエルはアメリカに不信感を持ち始めています。

これらのことが、日本にとって何を意味するのでしょうか。戦後日本は、国の運命を国際社会、とりわけアメリカに委ねてきました。安全をお預けして守ってもらおうというのが、今の憲法なのです。そして日本を丸裸にするかわりにアメリカが守ってあげましょう、というのが日米安保条約でした。

戦後ずっとこの立場に立ってきた日本では、たとえ北朝鮮がミサイルを発射しても、いかにして自国を守るかという議論が全くありませんでした。自分たちの力でどうやって自国を守るか、という感覚が全く無いのです。

「だらしのない国になりなさい」というのが今の憲法です。そして「アメリカが守ってあげます」というのが、日米安保条約なのです。だらしのない国民であり続けるのならそのままいいでしょうが、今がチャンスかもしれません。なぜならオバマ大統領が「もういい」と言い始めたからです。「アメリカに頼らないでください」と言い出したのです。

シリアに介入しなかった国が、尖閣諸島に来てくれると思いますか。共産党などは、日本に米軍基地があるなどの理由から、アメリカの戦争に日本が巻き込まれる、と主張してきました。ところが今、アメリカは「あなたたちの紛争に、我々を巻き込まないで」と、言っているのです。

アメリカは尖閣諸島の現状を変更してはならない、と繰り返し言っていますが、現状変更しようとしているのは中国の方です。靖国神社にしてもそうです。国のために命を捧げた英霊に参拝しないリーダーが、どこの国にいますのでしょうか。

日本では戦後も、首相が靖国神社に参拝し続けてきました。アメリカの占領下でも吉田茂首相が参拝しましたが、アメリカは何も文句を言いませんでした。A級戦犯が合祀されていることが明らかになってからも、中国は何も文句を言いませんでした。でも突然、鄧小平氏の気が変わったのでしょうか。

1979年、大平首相は春と秋の例大祭に参拝後、12月に中国を訪問しました。このとき中国は熱烈大歓迎したのです。さらに鄧小平氏は、日本の軍事費が小さ過ぎるとまで言いました。そのほか中曽根康弘氏が訪中した際にも「日本の軍事費が少ない」と言われています。靖国問題が政治的に利用されているということは、一目瞭然です。

第2期オバマ政権は、いっさい面倒を抱え込みたくない、というスタンスです。日本とアメリカは、切っても切れない国同士だと思います。これまで日本は、一方的に守ってもらうがために、一方的に言うことを聞かされる状況でした。これからの日本は、日本国自身の土台を持たなければならないと思います。

そのためには、中国が何をめざしているのかも理解しておかねばなりません。アメリカが軍事費を減らせば、反対に中国が軍事費を増やすことで差が開きます。中国の軍拡は続くでしょう。尖閣は小さな島だけの問題ではありません。地球儀で見ていただくと、尖閣諸島の地理的な重要性が理解できるでしょう。中国が南シナ海を獲得するためには、台湾が必要です。その台湾をとるためには、尖閣をおさえれば非常に有利になるのです。

中国は、第1列島線の中までアメリカに入ってきてほしくないのです。そして第2列島線にアメリカが接近してくることを極力避けたいと考えています。太平洋を分断するのが当面の中国の戦略です。そのために着々と軍事力を増強しています。大型巡視船を増強するのも、民主主義国家の日本では時間がかかりますが、一党独裁の中国は1年間で一気に建造できます。

中国の膨張が進行していることについて、日本はオーストラリアやインドなどとも協力して、対峙していかなければなりません。そしてその中で、日本が主導的な役割を果たさなければならないと思います。日本はアジアの大国です。連携の要にならねばなりません。

そうすることで、内向きになるアメリカにもメッセージを送ることができるでしょう。そのために何をしなければいけないのか。これこそ皆様が、社会のリーダーとして考えていただかなければならないことでもあります。

現在の憲法がこれでいいのか。国連が認めている集団的自衛権が行使できないのはおかしい。法制局の頭の良い人たちが言ってきたことが、本当にそのままいいのか。一日も早くこの基本の部分直さなければならぬと思います。

最終的には、憲法改正です。そして当面は、集団的自衛権です。さらに私たち一人ひとりが、立派な日本国民としての価値観を取り戻すことが大切です。道義大国日本の国民として、世界のために貢献できる勇気と力を身につけなければなりません。そのためには教育も変えていく必要がありますが、それはまたの機会にお話しさせていただきます。

本日はご盛会、おめでとうございます。



青少年交換学生

### 山下 英香

2012年～2013年にかけて11か月間をフィンランドに派遣して頂いていた、山下英香です。

初めに、日本とフィンランドとの距離・人口・気候の違いは、日本とフィンランドは7500km離れており、飛行機で約9時間半、行きも帰りも狭い座席が辛かったです。

フィンランドの冬はとても寒く、日本とは少し違う寒さだと思いました。同じ3°Cでもフィンランドではそこまで寒く感じません。もちろん寒いのですが震えてしまう寒さではなく、耐えられます。しかし、マイナス15度を超えると、震えるというより危ない感じで、説明は難しいのですが、息を吸ったら食道が凍りそうな感じです。

日本の国土面積とはほぼ同じくらいで、人口は日本の半分以下です。私はフィンランドの3つ目の首都と言われるTurkuという町の近くに住んでいたのですが、日本と比べると、殆ど人が居なく、帰国後大阪を歩くと「こんなに人が多かったかな」とびっくりしました。

フィンランドでの生活は、最初に驚いたのは食事の回数です。朝、昼、おやつ、夕食、寝る前の合計5回。最初は「食べすぎだな」と思いましたが、1か月もすぎると、5回の食事にお腹が慣れて、自分でもびっくりしました。どの家庭にもサウナがあり、週に1～2回は入りました。公衆サウナのようなものもあり、冬には湖が凍ったところに穴をあけ、そこでサウナの後泳ぎますが、氷に穴をあけて泳ぐのでとても冷たく、フィンランド人でも「寒すぎて泳げない」という人がいるくらいです。

次に行事ですが、勿論一番大きな行事はクリスマスでした！ サンタの国ということもあり、プレゼントの量や、家族でディナーをする回数、すべてが沢山ありました!! 日本のお正月の様な感じだと聞いていたのですが、それ以上だと思いました。クリスマスを過ごした2ndホストファミリーの家で、そのお宅は毎年大きなクリスマスツリーを飾ります。プラスチックではなく、本物の木です。そのツリーを一緒に買いに行きましたが、大き過ぎて車に入らないので、車の上にくくり付けていました。日本では、一度ツリーを買えば数年使用するのが普通で、本物の木など買うこともなく、本物の木であれば葉っぱなども落ちるし面倒ですが気にせず、大きいクリスマスツリーをみんなで見ながら夕食をしたり、カードゲームをしたりして時間を過ごせるのは、とても良い習慣だと感じました。

他にも沢山行事があり、近くの家族はもちろん、遠出して泊まっていく家族、近所の人もたくさん集まりお祝い出来るのは、日本と違いオープンだと思いました。

日本にない行事で「スキー休み」「juhannus」があり、独立記念日は12月6日です。スキー休みは1番寒い時期に1週間。Juhannusは1年間で1番長い日にするパーティで、朝の4時位までずっとテーブルゲームや、お話をしていました。その時期は完全に日が落ちることはなく、夕方くらいの暗さになってきたなと思ったら、又日が昇っていくという感じです。

ホストファミリーの人たちは「明るかったら眠れない」と言っていたのですが、私は気にならず、むしろ暗くならないので、いつでも楽しい気分がとても好きでした。

最後に私の一番の思い出は、派遣期間の終わりの時期に音楽のキャンプに行けたことです。高校で吹奏楽部でしたので、楽器をフィンランドにも持って行きましたが、毎週1回、学生の演奏クラブの様などころに参加させて頂きました。キャンプはその友達に誘ってもらいました。キャンプ期間の約1週間で曲を仕上げるといふ、私にとってはとてもハードはスケジュールだったのですが、みんな親切で、私が外国人という事など関係なくアドバイスをしてくれたり、自由時間は一緒に遊んだり、とても濃い時間を過ごせた1週間になりました。

今回の派遣で困った時など、日本とフィンランドのロータリアンの方に相談に乗って戴き、メールでの早い対応など安心して過ごすことができました。

この11か月間、安全で充実した生活になりました。ありがとうございました。



青少年交換学生

## 岩谷 志帆子

こんにちは。岩谷志帆子と申します。本日は地区大会という場で帰国報告をする機会をいただき、大変光栄です。まず、青少年交換という大きなチャンスを与えていただいたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

私は昨年一年間、大阪西南ロータリークラブから、7040地区にあるカナダの首都オタワに派遣されました。7040地区はカナダのオンタリオ州とアメリカ、ニューヨーク州を包括しており、ステイしていた世界20カ国からの派遣生と、観光や文化体験を通して、異文化交流をしました。

ホストクラブのNepean Kanata Rotary Clubでは、木曜日の夜に20名のメンバーと例会を持ちます。私は毎週、日本の風土や文化を紹介することを主題に、`Japanese Moment`と題したスピーチを担当しました。高校については、生徒と先生との距離が近く、授業が主に生徒主体のディスカッションで進められる点が印象的でした。

今日はカナダでの経験から、私が学んだ3つの“Forward”についてお話します。Forwardとは「先に進む」という意味です。

一つ目は、思い切って前進すること、“Go Forward”です。それは、日本ではできない経験をしようと、高校の女子ラグビーチームに参加したことが始まりでした。全くの初心者が相手にタックルを仕掛けてゴールを阻止するなど、腰が引けてできるはずもなく、試合のときはいつも補欠でした。それでもラグビーは楽しかったので、上達するために2つのことだけは必ず実践していました。それは、朝7時からの練習に時間通り出席すること、そして言われたことに対して返事をし、改善することです。しかし、なかなか試合には参加できないので、思い切ってコーチやメンバーにもっと自主的にアドバイスを求めるようになりました。そうすると、皆、親切に丁寧に教えてくれたのです。次第に試合にも出られるようになり、チームに恩返しすべく、いくらか得点することができるようにもなりました。

そして、これは後日談になりますが、帰国前にキャプテンが、「カナダ人の多くは時間にルーズだし、返事も徹底してするわけではないから、君が実践した2つの習慣は、チームの士気と一体感を高めたんだよ」と教えてくれました。この出来事がきっかけで、メンバーとの距離が格段に縮まりました。ホストファミリー宅のプールでパーティーをしたことは特に忘れられません。つまり、自分がすべきことをした上で、それでも尚協力が必要なきときには、“Go Forward”、おもいきって誰かに協力を求める。そこで「迷惑をかけるかもしれない・・・」と、心配しすぎて思いとどまらない。けれど、助けてもらった折にはその分だけ恩返しをしようと努力する。その循環が人生における人間関係を豊かにするのだと気付きました。

二つ目は、“Pay it Forward”です。訳すと「恩送り」といって、誰かから受けた恩を、直接その人に返すのではなく別の人にリレーするということです。例えば、カナダで有名なTim Hortonというドーナツチェーン店のドライブスルーで、自分の次の誰かの料金も払い、コーヒーとドーナツを贈る、という連鎖が228回連続で続いたという調査があります。ロータリーにおいても同様の連鎖が起こっていると感じました。ロータリアンの方々が日々奉仕活動を行っている事がきっかけで、地元の人たちをも巻き込んで青少年交換プログラムを実現することができている。すると世界中の若い派遣生たちも一体となって社会・地域全体を動かしていくようになる、というプロセスを目の当たりにしたからです。ロータリーは世界規模で“Pay it Forward”を実現することができるのだと確信しました。同時に、社会における様々な問題を解消するのは理論だけではなく、むしろ人と人のつながりが大切であることを知りました。

最後に、将来を考えると、“Look Forward”です。青少年交換は、私に世界各地に住む多くの友人を得、自分の視野を広げるきっかけを与えてくれました。春には志望していた早稲田大学に進学します。

ロータリアンをはじめ、協力して下さった全ての方への多大な感謝を社会に還元するためにも、今後も積極的に大学やローテックス、そして大人になったらクラブの活動に参加し、人脈を広げ、知識を増やし、少しでも社会をよくする人材になりたいと望んでおります。

Thanks Rotary.



## [決議第1号] 国際ロータリー会長代理 張瑞欽氏に対する感謝の件

国際ロータリー第3510地区パストガバナー 張瑞欽氏は、国際ロータリー会長 ロン・D・バートン氏の代理として、公私ご多忙の中、本大会にご臨席を賜り「Engage Rotary, Change Lives」をロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を、のR Iテーマを推進するために極めて格調の高いメッセージと豊富な情報により、参加者全員に深い感銘を与えて下さいました。よって本大会は、国際ロータリー会長代理 張瑞欽氏に対し、深甚なる謝意を表すことを決議いたします。

## [決議第2号] 国際ロータリー第2660地区 直前ガバナー 高島凱夫氏に対する感謝の件

直前ガバナー高島凱夫氏は、国際ロータリー直前会長 田中 作次氏のR Iテーマ「奉仕を通じて平和を」のもとに、一年間リーダーとしてあらゆる奉仕活動にご尽力されました。本地区が国際ロータリーの中において極めて高い評価を受け、「2012-13年度R I会長賞」を受賞したことは、直前ガバナー高島 凱夫氏の卓越した指導力と献身的努力の賜物であります。よって、本大会は直前ガバナー高島 凱夫氏に対し、その功績を称え、深甚なる感謝の意を表することをここに決議いたします。また、令夫人の内助の功に対しましても深く敬意を表するものであります。

## [決議第3号] 2016年規定審議会の代表議員及び、補欠代表議員を指名する件

2016年4月、米国シカゴにおいて開催されます規定審議会の当地区代表議員として、パストガバナー 新谷秀一氏、補欠代表議員として、パストガバナー 横山守雄氏を選出することを決議いたします。※1

## [決議第4号] 災害支援に関する件

本地区及び当地区内各クラブは、国内外に大規模自然災害が発生した場合、今後も被災者救援と被災地の復旧復興のため迅速、且つ、有効な支援活動を行うことを決議いたします。

## [決議第5号] 国際大会への参加を推進する件

ロン・D・バートン氏がR I会長を務める本年度の国際大会は、2014年6月1日(日)～4日(水)の4日間、オーストラリアのシドニーにて開催されます。本地区のロータリアン及びご家族の国際大会への参加を推進することを決議いたします。

## [決議第6号] 2012-2013年度の収支決算書を承認する件

本大会は、国際ロータリー第2660地区の2012-13年度収支決算書を承認することを決議いたします。

## [決議第7号] 次年度地区大会開催に関する件

2014-15年度 国際ロータリー第2660地区の地区大会は、大阪帝塚山ロータリークラブがホストクラブを務め、IM第8組の9ロータリークラブの協力を得て、2014年12月5日(金)・6日(土)に大阪市(シェラトン都ホテル大阪、フェスティバルホール)において開催することを決議いたします。

## [決議第8号] 本大会のホストクラブ、コ・ホストクラブ、サポートクラブ並びに協力団体に対する感謝の件

2013-14年度 国際ロータリー第2660地区地区大会が、地区内外から多数のロータリアンとそのご家族の参加のもとに、見事な運営により、素晴らしい地区大会となり成果を収められました。

大会にご尽力いただきましたホストクラブの八尾中央ロータリークラブ、コ・ホストクラブの八尾ロータリークラブ、大阪柏原ロータリークラブ、八尾東ロータリークラブ、サポートクラブの東大阪ロータリークラブ、東大阪中央ロータリークラブ、東大阪東ロータリークラブ、東大阪みどりロータリークラブ、東大阪西ロータリークラブ、大阪ネクストロータリークラブ、大阪フレンドロータリークラブ、吉村清明実行委員会委員長をはじめ実行委員会の皆様、会員並びにご家族、さらには諸団体の皆様の献身的なご奉仕とご協力に深甚なる謝意を表すことを決議いたします。

※1 その後、2014年4月19日(土)開催の「2014-2015年度のための地区研修・協議会」において、代表議員としてパストガバナー 横山守雄氏、補欠代表議員としてパストガバナー 大谷透氏を選出する決議が採択されました。

# 大会役員・大会委員会・大会実行委員会

## ●大会役員

ガバナー	福家 宏	(八尾中央)
大会実行委員長	吉村 清明	(八尾中央)
大会副実行委員長	玉井 利宏	(八尾中央)
大会副実行委員長	吉本 憲司	(八尾)
大会副実行委員長	笠井 靖彦	(大阪柏原)
大会副実行委員長	石川 義一	(八尾東)
大会幹事	山本与志弥	(八尾中央)
大会SAA	今西 敦之	(八尾)
大会副SAA	栗原 大	(大阪フレンド)
大会会計	片岡 基博	(八尾中央)
地区代表幹事	山田 正雄	(八尾中央)
地区副代表幹事	中井 敬和	(八尾中央)
ホストクラブ会長	柳 雄二	(八尾中央)
コ・ホストクラブ会長	高井 榮彌	(八尾)
コ・ホストクラブ会長	笠井 靖彦	(大阪柏原)
コ・ホストクラブ会長	山田 哲男	(八尾東)
サポートクラブ会長	国宗 範彰	(東大阪)
サポートクラブ会長	広田 甫	(東大阪東)
サポートクラブ会長	鈴木 勝俊	(東大阪中央)
サポートクラブ会長	弓手 宏亮	(東大阪西)
サポートクラブ会長	山本 昌宏	(東大阪みどり)
サポートクラブ会長	茨木 繁	(大阪ネクスト)
サポートクラブ会長	栗原 大	(大阪フレンド)

## ●大会委員会

### 信任状委員会

委員長	横山 守雄	(大阪中央)
委員	村橋 義晃	(大阪中之島)
委員	中島 武	(大阪みおつくし)
委員	栗原 大	(大阪フレンド)

### 決議委員会

委員長	新谷 秀一	(池田くれは)
委員	正岡 哲	(池田くれは)
委員	田中 隆弥	(池田くれは)
委員	近藤菜穂子	(大阪ネクスト)
委員	磯田 郁子	(大阪東淀ちややまち)

### 選挙委員会

委員長	松本新太郎	(八尾)
委員	溝畑 正信	(東大阪東)
委員	井川 孝三	(八尾)
委員	池尻 誠	(八尾)
委員	木村 芳樹	(大阪南)

### 表彰委員会

委員長	岡部 泰鑑	(大阪城南)
委員	渡邊 邦雄	(大阪城南)
委員	岩津 陽介	(大阪御堂筋本町)
委員	柳 雄二	(八尾中央)

## ●大会実行委員会

### プログラム委員会

委員長	玉井 利宏	(八尾中央)
副委員長	山本与志弥	(八尾中央)

### 登録受付委員会

委員長	中井 敬和	(八尾中央)
副委員長	山本 勝彦	(八尾)
〃	深井 達雄	(八尾中央)

### 会場委員会

委員長	今西 敦之	(八尾)
副委員長	栗原 大	(大阪フレンド)

### 合同研修委員会

委員長	今西 敦之	(八尾)
副委員長	児玉 秀一	(八尾)

### 晩餐会・家族の集い委員会

委員長	松下 和彦	(八尾中央)
副委員長	稲田 賢二	(八尾)

### 接待委員会

委員長	大谷 隆英	(大阪柏原)
副委員長	石川 義一	(八尾東)

### 記録広報委員会

委員長	吉本 憲司	(八尾)
副委員長	山陰 恭志	(八尾)

### 救護委員会

委員長	泉 寛治	(八尾中央)
副委員長	松尾 汎	(八尾中央)

### 表彰委員会

委員長	野中 志郎	(八尾中央)
副委員長	川田 隆	(八尾)

### 総務・会計委員会

委員長	玉井 利宏	(八尾中央)
副委員長	片岡 基博	(八尾中央)

# 会計報告

## ●国際ロータリー 第2660地区 2013～2014年度 地区大会会計報告

### 【収入の部】

区 分	明 細	金 額
前年度繰越金		7,964,697 円
地区大会資金		18,620,000 円
登録料		25,070,000 円
地区大会登録料	18,475,000 円	
他地区登録料	155,000 円	
晩餐会登録料	5,440,000 円	
晩餐会来賓等登録料	1,000,000 円	
来賓祝儀等		20,000 円
雑収入		351,165 円
収入合計		52,025,862 円

以上の通り相違ありません。

平成26年6月31日

国際ロータリー 第2660地区  
2013-2014年度  
地区大会実行委員会

実行委員長  
吉村 清明

大会幹事  
山本 与志弥

大会会計  
片岡 基博

八尾中央ロータリークラブ会長  
柳 雄二

### 【支出の部】

区 分	明 細	金 額
開会式・友愛の広場		3,712,820 円
会場費	2,031,820 円	
制作費	750,000 円	
講演等謝礼	200,000 円	
友愛の広場	731,000 円	
その他		
本会議		4,629,015 円
会場費	2,188,170 円	
制作費	750,000 円	
講演等謝礼	1,690,845 円	
その他		
家族の集い		1,327,600 円
会場費	627,600 円	
制作費		
講演等謝礼	700,000 円	
その他		
晩餐会		7,943,800 円
会場費	6,429,940 円	
制作費	1,088,860 円	
講演等謝礼	425,000 円	
その他		
広 報		5,619,670 円
他クラブ訪問	166,000 円	
印 刷	5,453,670 円	
その他		
その他		18,199,274 円
接待・記念品	1,710,397 円	
会議費	169,743 円	
制作物	530,000 円	
事務所費	2,021,870 円	
企画プロデュース	2,600,000 円	
映像関係	3,580,000 円	
雑費	3,975,176 円	
管理費	2,298,121 円	
消費税	1,263,967 円	
寄附（西口）	50,000 円	
支出合計		41,432,179 円
繰越金		10,593,683 円
合 計		52,025,862 円

### 監査報告

左記決算書につき関係書類と照合し  
監査の結果、正確かつ適正であるこ  
とを認めます。

次年度地区財務委員長  
大阪帝塚山ロータリークラブ  
小島 康秀